新京日日新聞

發行所 新京日日新聞社

海、藏互に讓らず 或は豫算不成立か

藏相裁斷後の折衝重視さる 各方面不安の空氣

〔東京廿七日發國通〕明年度の豫算は復活要求問題で果然大藏省當局と海軍省が最後の土壇場迄來て四つに組合つた儘双方共退かないので各方面に不安の空氣が濃厚となつたが此儘双方が押せば事態は一層惡化するばかりとなり

一、海軍省としては飽迄要求を以て一歩も退かず萬一政局の危機到來すれば、明年度豫算の成立は益々遲延し次回閣議の如何に依つては豫算不成立となる惧もあるが、斯くては第一次査定で認められたる第二次補充計畫、艦船改裝、航空擴充實も潰滅する惧あり、國防充實計畫の實行着手がそれだけ遲延する事が無いとも限らない

一、大藏省としては之以上遲延せば假に最後的妥協に到達するものとしても技術的に豫算の編成が間に合はなくなり、不幸にして意見の不一致、延いて政局の危機となれば影響深刻なるものある事等結論としては兩者とも此豫算の圓滿解決を期してゐる事には變りなく且つ解決を急がねばならないといふ各内面的理由を有してゐるので表面上は双方共强氣一杯ながら相當焦燥氣味を内藏してゐるらしい

依つて大藏省では二十六日高橋藏相私邸で省議を開き海軍外の各省の査定案を審議し、其結果に基き更に二十七日省議開催、藏相より諸般の事情を考慮して海軍の復活要求に對し裁斷を下す事になつた、一方海軍省も大角海相、藤田次官、村上經理局長等參集深更迄對策協議したが藏相の意向は豫想以上に强く、海軍側にも一歩も讓歩をなして居ないだけに藏相裁斷後に於る大藏海軍兩省間の政治的及事務的折衝が如何なる結末を得るか頗る注目される譯である

大藏の査定方針と內容は結構

貴院は藏相支持者多數

〔東京廿七日發國通〕明年度豫算編成の爲政府は非常に緊張し特に軍部と財政當局の關係が最も注目されてゐるが貴族院有力筋の意向は左の如くである

今回の大藏當局の査定方針並に其內容は流石に老藏相の手並に感心される、これに對し陸海軍並に農林當局が强く復活要求を爲してゐるが外交國防財政の三位一體の立場から此際高橋藏相は所期の方針通り貫徹する事が國家大局から必要であらう、若し此場合大藏當局の方針が敗れるならば財政の基礎を危くする虞れが多分にある、併して豫算編成難で政變をみるが如き事あれば益々時局を紛糾させる事とならうから此際是非共大藏當局の方針を貫徹せしめねばならぬと高橋藏相を支持してゐる向が多い

事務的折衝 遂に無效

〔東京廿七日發國通〕海軍省村上經理局長は廿六日午後二時半大藏省に藤井主計局長と會見し、復活折衝を試みたが效なく午後四時半空しく海軍省に引揚げ直に官邸に大角海相を訪問し、大藏省との事務折衝の絶望なる旨を報告し大角海相の政治的折衝に一任したので海相は愈よ廿七日午後高橋藏相を訪問して復活交渉に乘り出す筈である

印度側廿七日 官民協議會開催

結局我方にも讓歩を求めるか

〔デリー二十六日發國通〕印度當業者代表カイタン氏は政府招請で二十六日午後八時半カルカツタより到着したが印度側の情報によりボンベイ代表も二十七日には着く豫定で政府側では二十七日午後官民協議會開催し協議の豫定だと尙一部ではランカシアの返事が遲れ二十八日に日本に回答することは難かしいとの觀測もある、會商の前途を支配するものとして注目される印度の態度に幾分の讓歩はあらうがそれは極く僅かで結局は日本にも讓歩を求めんとの觀測が有力である

シヤムから衛生視察

ヤングフア博士

シヤム內務省衛生局ヤングフア博士はかねて米國ハーバード大學に留學公衆衛生を研究し此度び歸國の途次、日本および滿洲國の衛生施設を視察すべく二十七日朝來京、兩三日滯在のうへ歸國の豫定である

排日の根源もすつかり解消

敎化に親日熱溢る

事變前まで排日思想の根源地の如くいはれてゐた敎化では三民主義敎科書その他いづれも三民主義をつゞけて來たものだが事變後滿洲國の成立とゝもに極端な排日侮日も次第に消去つて今では全然親日氣分が橫溢して昔日の面影がどこにも見出されないといふ排日敎育者の逃走に引續く匪賊の跳梁によつて學校も一時閉鎖の止むなきに至つたがその後各學校とも相ついで開校し同縣內で既に左記六校が開かれてゐるが城內敎育會館における日本語の敎授にも常に五十餘名の生徒が熱心に出かけるといつた具合で對日感情はますます良好になる一方であると滿洲國政府當局者でも大喜びである

一、第一完全小學校高級七二名、初級四三三名
一、第二初級小學校一五五名
一、第三初級小學校、二五名（一年生のみ）
一、第五初等小學校、三五名（同上）
一、第七初等小學校、五二名（同上）
一、第八初等小學校、五名（同上）

菱刈長官

錦州より來奉

〔奉天廿七日發國通〕錦州熱河方面を巡視中であつた菱刈司令官は二十七日午前十時卅五分錦州より飛行機で來奉直ちに瀋陽館に入つた

國民黨自身の換骨脫胎に鑑み

地方政權の勢威を認める 福建政府に對する外務の方針

〔東京廿七日發國通〕福建獨立政府の構成內容に就てその後外務省へ到着せる報告によれば新政府は大体國民黨左翼と共產黨お歎との合作になるものゝ如く、その掲げる政綱の如きものも表面頗る共產主義的なるが、今後の發展を觀なければ何れとも決定し得ざるも新政府に對し外務省は次の如き態度をとることに決定するものと思はれる

一、福建獨立運動の歸趨は今遽かに何れとも斷じ得ないが國民黨そのものが換骨脫胎の情勢となりつゝあり從つて各地方政權の勢威を實際的に尊重せざるを得ない狀態である

一、依つて我國としては我權益の實質的擁護を圖る意味から地方政權と必要なる折衝を行ふ用意を有するものである

一、併しながら何れの政權にしても排日抗日運動を行つて我利益に抵觸することあるに於ては之が排除の爲めに必要なる手段を執るべき決意を有するものである

考査部設置 樞府審査委員會開催

〔東京廿七日發國通〕內田外相時代樞密院に御諮詢あらせられ審査委員會で久しく行き惱みとなつてゐた外務省考査部設置に伴ふ

一、外務省官制中改正の件
一、外交官及領事館官制中改正の件

に關する樞府審査委員會は廿七日午後一時より事務所に開會され倉富、平沼正副議長、金子委員長以下各委員、二上書記官長、政府側より廣田外相、重光次官、黑崎法制局長官、其他關係官出席、先づ外相より就任以來種々考究の結果、原案を修正するに至つた事情及之が方針を說明後各委員の質問に入つた

マルコニーと侯 丁交通部總長

〔奉天廿七日發國通〕昨廿六日夜ヤマトホテルに一泊したマルコニー侯夫妻は廿七日午前十一時よりヤマトホテルに於て交通部總長丁鑑修氏と會見したが右會見に於て丁總長はマルコニー侯に對し

世界的發明家たる侯を此地に御迎へすることを得たのは眞に欣快に堪えないと滿洲國中央の意向を傳へ心からなる歡迎の辭を述べればマルコニー侯は深く感謝の意を表し約二十分にして會見を終つた

尙右會見の際丁總長より滿洲國寫眞帖、資料集等を贈呈した

福建獨立と北支動搖

小康の態だが前途樂觀を許さず

〔天津二十七日發國通〕何應欽氏を筆頭に于學忠氏、韓復榘氏並に舊東北將領の中央擁護通電に依つて問題視されて居た舊東北將領其他中央系將領の對福建態度は一先づ明瞭となつたものの如く觀られて居るが陳銘樞氏は天津英租界に辦事處を設置し之を中心に各地に人を派し盛んに暗躍を續けて居り已に相當の動搖を起させ不安は漸次增大の形勢にある爲、何應欽氏は各公安局に對し嚴重に之が取締をなさしめると同時に未拂軍費を中央に請求する等懷柔策のため奔走して居るが、その前途は必ずしも樂觀を許さないものがある

李烈鈞氏

福建問題調停に起つ

〔上海廿七日發國通〕中央委員李烈鈞氏は愈よ福建問題に就き調停に起つ事となり、先づ福建方面の意見聽取のため其の代表は廿六日上海發、水路福建に向つた、福建側の意見を得た上、在上海の中央委員を招集し辦法を議する筈である

蔣伯誠濟南着

韓復榘と會見

〔天津廿七日發國通〕福建獨立に關し韓復榘氏の諒解を求むべく濟南に向つた北平軍事分會委員兼山東黨務執行委員蔣伯誠氏は廿五日濟南着廿六日韓復榘氏と會見中央の意を傳へ諒解を求める處があつたが同氏は廿七日夜濟南發歸津し何應欽氏に一切の事情を報告する筈

中央要人時局會議と

檢討さるべき重要問題

〔南京廿六日發國通〕福建の獨立は反蔣勢力に一大刺戟を與へると共に蔣介石氏の獨裁南京政府及國民黨の基礎に對し測り難き衝擊を與へたが、確聞する處によれば蔣介石氏は近く廬山に汪精衛氏、孫科氏、張群氏等を始め中央の要人を招待し一大時局會議を開催する事になつた、右會議で檢討さるべき重要問題は大体次の諸項であると云はれてゐる

一、對福建軍事工作
二、反蔣派の連繫切り崩し策特に西南派及反蔣的北方將領の懷柔策
目下停頓の狀態にある掃匪事業今後の對策
三、財政問題
四、國民黨の結束問題

國境警察隊長 正式任命

滿洲國民政部では全滿國境警察隊並に海邊警察隊整備に伴ひ九月七日附をもつて各警察隊長の正式任命を行つた

特殊警察隊長 宮部光利
命海邊警察隊長 同 柳原源藏
命山海關國境警察隊長 深井直一
命滿洲里國境警察隊長 同 宇野晉治
命瓦房店國境警察隊 同 若林佐太郎
命安東國境警察隊長 同 吉村雄
命綏芬河國境警察隊長 紅露和平
命古北口國境警察隊長

錦州方面へ 石田侍從武官

〔奉天廿七日發國通〕石田侍從武官は廿七日午前六時五十五分奉天發奉山線列車で錦州方面に向つた

天津日本租界埠頭に

最初の入港船

〔天津廿七日發國通〕昭和二年竣工以來白河の泥塞の爲汽船の遡航を觀なかつた日本租界埠頭に本日愈よ第一船として東興洋行の八千代丸、淸水丸の兩船が入港することゝなつた入港は午後二時頃の豫定で日本租界では居留民一同歡迎祝賀に忙殺されてゐる

榮總裁一行

來月十三・四日頃歸着

日本各地視察中の榮中銀總裁一行は來月十日門司發、大連經由十三、四日頃新京歸着の豫定である

大同學院第一期卒業生 佐伯君死去

大同學院の第一期卒業生で昌圖縣屬官となつた佐伯正氏は先頃チブスに罹り奉天滿鐵醫院に入院中であつたが藥石効を奏せず二十五日午後四時五十分死去、二十六日橋立町奉天葬儀場で本葬儀が營まれ遺骨が新京に送られ二十七日午後六時五十五分着列車で到着するので同學院職員生徒が出迎へ、一先づ東本願寺に安置通夜を營み改めて二十九日午後一時から大同學院で學院ならびに同窓會の主催で告別式を行ふことゝなつた佐伯氏は柔道の選手として知られ今秋大連で催された柔道爭覇戰の最優勝者でありその夭折を惜まれてゐる

日本官民の熱情には一驚

馬政研究のため渡日した王貫三氏の話

滿洲國馬政局王貫三氏は日本の馬政並に馬事施設見學のため出張中のところ二十五日歸京したが左の如く語る

渡日後大阪に於ける競馬十周年記念の全國馬術博覽會を見物してその規模の廣大さ官民の

『熱心』

にまづ驚嘆した、それから直ちに上京して農林省佐々田技師、滿洲國公使館福島書記官の案內で陸軍の各機關、公認競馬場軍馬補充部本部その他を見學、ついで奧羽各地の種馬所、同育成所、同牧場その他を見學し歸途、農林省主催の馬産會議に出席したが到るところ懇切極まる歡待、整備せる諸施設、官民の純眞な熱

『各位』

情に尊敬と感謝のほかない、歸任の上はよく友邦官民の眞意を傳へ、また滿洲國馬事のために獻身の覺悟で全力を盡したいと思ふ

宋子文の計畫の

棉花大農場國營案內容

〔上海廿七日發國通〕全國經濟委員會最大の事業として宋子文氏の計畫する棉花大農場國營案が着々具体化しつゝあり內外の注目を惹いてゐる、右計畫內容は既に中央行政委員會を通過し目下兩淮鹽墾殖特別委員會の手によつて細目案の計議中であるが、要綱は次の如きものである

江蘇省內鹽田千三百萬畝を棉畑となし、年額千三百萬石の優良棉花を收穫、輸入棉花を完全に驅逐せんとするもので、農具、種子、技術は米國の援助を求め、差し當つて米支合辦の拓殖公司を組織の上農耕人二百五十萬人を收容するといふことになつて居る

併し肝腎の米國の援助諒解の程度に就いては未だ何等の眞相に就き言明がない

滿洲國辭令

任財政部屬官（委任二等）財政部理財司勤務 橋本乙次
任財政部屬官（委任二等）財政部理財司勤務 米光作太
任財政部屬官（委任二等）財政部稅務司勤務 西力讓
任財政部屬官（委任二等）財政部稅務司勤務 國澤健一郎
財政部屬官 任專賣公署屬官（委任二等） 中尾成行
任財政部屬官（委任一等）財政部理財司勤務 金子巳代治
任財政部屬官（委任二等）財政部理財司勤務 澄田宇太郎
任財政部屬官（委任二等）財政部稅務司勤務

阿片零賣所の女給制度は十一月限

〔奉天二十七日發國通〕阿片零賣所の女給制度は風紀を紊亂する惧れありとなし瀋陽警察廳では十一月末日を以て全廢する樣各零賣所に通告する處あつたが今回更に四十才未滿の出入を禁止すると共に違反は嚴罰に處する旨の通告を發した

佐々木、山田兩少佐 關係方面歷訪

駐滿海軍部司令、參謀兼副官として名染み深い佐々木少佐は今回軍艦鳥海の運用長に榮轉、十二月一日離京赴任の途に就くが、本日後任者山田武次少佐と共に各方面を歷訪し離着任の挨拶をなす處あつた

皇軍慰問日記（十）

新京兵士ホームから

九月二十七日

これからは汽車がないので自動車に依らねばなりません、午前七時より四十五聯隊第一中隊、同機關銃隊、二十三聯隊五中隊の兵營を御慰問しました、午前八時半愈よ出發自動車隊の五中隊長殿が御自分の乘用車を我々の爲に提供して下さつたのでそれに乘つて行く事にしました、それに承德で任務につかれる川瀨少尉殿が護衛して下さるとあつて吾々も大安心しました

自動車も即席に改造して坐席をとりつけて毛布を二十枚敷いて座る様にしたのです、道は思つたより立派でしただ平定後五月に國道局と工兵隊の方が協力して修築した許りださうで、蠢動して治安を紊るうとする匪賊の襲擊に武器を持つて闘ひ乍ら築造した道なのださうです

さういふお話を伺ふとこうやつて自動車で樂に乗つてゐるのが勿体ない樣な氣がします最も熱河省が五百萬の移住民を移してゐるから依然として舊慣を持して天與の資源の開發されないのはこの交通運輸機關の缺陷が主因なのですからどうしても先決問題としてやらなければならないことだつたのでせう

熱河作戰に先達つて今はなき武藤軍司令官閣下が疾風迅雷短日時に平定せよと訓示されたさうですが誠に其の通り破竹の勢を以て世界戰史上空前の快刀亂麻的神速なる勝利を得たのださうです、二月二十三、四日に夫々第一線部隊は熱河省境を越えて前進して北票熱河方面では開魯の下窪、建平、赤峰等の諸要地を席捲し朝陽、凌源、平泉等の重要都市を占領して三月四日即ち行動開始後僅か十日前後で長驅一擧承德を占領したのだそうです

我が軍の戰線百五十里に亘り總兵力十五萬余の敵に向ひ僅か十分の一の兵力を以て鎧袖一觸之を驅逐したとの誇らしいお話を伺ひ乍ら自動車を走らせました

丁度この吾々の走つてゐる道今でこそこんな好くなつてゐますがこゝを西部隊の川原少將の指揮するあの最名な川原挺進隊が自動車に依つて銃砲彈の様に突擊したのです

月光岳を仰ぎ黒見峠を過ぎました、あたりは砂地なので稻も充分に實が入らず高梁は未だやせてゐました

只綿の花が一面に咲いて薩摩薯、胡麻が相當よく出來てゐました

大凌河を渡るとその右岸に大平房といふ人口三千ばかりの帶狀の町があつた、こゝに八師團の兵隊さんが三千名ばかりで警備にあたつてゐられました

康家屯を過ぎて公營子に入りました自動車の旅行は汽車に比べて動搖がふんわりしてゐるのでとてもらくです、それに吾々の座席が別あつらへですから、こゝで晝食をいたゞき警備隊を御慰問申し上げました

隊長さんは國元から親か親戚の方が來た様に嬉しいと泣かれたので吾々もたまらなくなつて泣かされました

石橋子から黄家店、水泉をすぎて葉柏壽に入りました

三月一日に朝陽を出發した川原挺進隊はこの葉柏壽に敵の相當堅固な防禦陣地を構築してあつたので此の爲一時前進が遲滯したのださうです、そしてこれから先きはもう行くと敵を擊破し三日に平泉に進入し四日には承德に入つたのだそうです吾々もこの警備の兵隊さんにさし上げる物がなくなつてしまつたので困り自分達が喰べる爲持て來た餅をあげたりしました、牛河線の分遣所に行きますと湧溝の處を僅か七人の兵隊さんが守つてゐられました、人數が少いのに警備地域は廣くて何時敵襲があるやも知れないので少しも神經の休まる時がないとのお話でした

こゝではもうありつたけの袋の底をはたいてゆで玉子を差し上げた

次は愈よ凌源に入ります

京大醫學部　講習生募集

京都帝國大學醫學部では來年二月一日から同二十一日まで醫學講習會を開くが左の要項を心得一月十五日迄に出願を要すと

一、資格……醫師免許證を有するものに限る

但し醫師免許證を有せざるものと雖も其資格を審査し許可することあるべし

二、期間……昭和九年二月一日より同月二十一日迄三週間

猶志望者は同月二十二日より二十八日に至る一週間其聽講科目に限り當該教室を見學せしむ

三、定員……内科學、百名、外科學整形外科學、六十名、眼科學、五十名、婦人科學產科學、五十名、小兒科學五十名、皮膚病學黴毒學、五十名、耳鼻咽喉科學、五十名、精神病學、五十名

各學科に於て出願者二十名以上に達せざる場合には開講せざることあるべし、或は講義を廢し見學のみを以て開講することあるべし

四、講習料……一學科に付金一圓とし願書と共に前納するものとす

但し開講せざるとき又は自學のみを以て開講する場合出願者にして自學取消を申出たる時の外既納の講習料は返還せず（郵便爲替を以て納付するものは拂渡局を京都帝國大學病院內郵便局と指定せらるべし）

五、願書……出願者は志望學科一科（又は數科）並に原籍現住所氏名を記載したる願書に履歷書（記載例に因り）及び講習料金を添へ醫學部長宛差出すべし（以下畧）

婦人公論十二月號

大津勝美夫人事件以來婦人雜誌を賑はす新聞種が現はれず、恰も雜誌界の霜枯の觀があつた、從つて十二月號はどの婦人雜誌も申し合せたやうに、實用記事一點張で押し通してゐる

いつも新機軸を出す事を忘れない「婦人公論」が、このとき、結婚生活の暗黑面を巧みにとり上げた獨特の編輯振はいつも乍らと感心させられる題して「愛し得ぬ惱み號」愛すべくして愛し得ない惱みの實話數篇を初め、强ひられた結婚に泣く女の實話「酒は涙か」の唄で有名になつた古賀政男の結婚解消記愛なき夫婦生活を棄てた博士夫人の手記等々を滿載、未婚者にとつては、桃色の夢を破るものとなり、既婚者にとつてはまた無き警鐘となる點大いに敬意を表する次第

卷頭山田わかの「女性よ常に愛情とともに」は、愛情を女性の天職とし、女性の特權を强調した近來の名論文、山川菊榮の內外時評と共に近代女性の必讀すべき大文字である

本號の特輯「愛し得ぬ惱み」入選實話五篇、親同志の爭ひから冷い夫婦生活に泣く妻の手記、教育者なるが故に同僚との間を阻まれる女教員の告白、無慈悲な父とその子との世にも痛ましい葛藤手記、教養と性格との相違から破れた結婚の夢を歎く女の手記、昔犯した過ちのために脅かされる氣の毒な妻の懺悔、すべて宿命的な人間生活の僞らざる現實暴露であるこれに對して山田わか、高良富子、竹田菊、木村松代、河崎なつの五女史が夫々人間愛の立場からの又社會的觀點からの明快な批判を加へてゐるのは、かういふ惱みを持つ持たぬに關はらず、必讀すべき人生讀本である

古賀政男の「結婚の夢破れたり」は本誌獨特の手記、新進作曲家、レコード界の寵兒であるだけ、この「結婚葬送曲」は今冬讀書界の話題となることは間違ない

次に「博士夫人を棄てゝ」の大梁尚子、「强ひられた結婚に哭く女」特選實話二篇、いづれも强ひられた結婚の生んだ悲劇であるが一は假面の紳士を敢然蹴つて理智と信念に更生する昭和のノラの、男性に對する痛烈な抗議狀、一は宿命の笞に泣く女の結婚哀史で、この二つの對照に興味がある

「「女給君代」は斯く叫ぶ」の加藤君代は曾て本誌懸賞小說で問題になつた人、女給から轉た男の心理解剖であるとともに、カフェーに對する誤られた考へ方を正したもの、奥樣方にとつては夫君操縱の第一課として見逃すことが出來ない

木村毅の「ラグーザお玉自叙傳」「序言」は明治文化裏面史を彩るお玉さんの位置を明かにしたもの、山内義雄の「大小說家バルザツク」と共に冬の夜の好讀物とならう

實用記事中の主なるものに「冬季を利用した結核豫防」「主婦の迎春準備心得帖」等

一々實在の名士に例をとつて面白い研究「眼、耳、口より觀た科學的運命判斷法」は若い人々の支持を受けること請合である

さて最後に、斬新な形式と物語風の美文とで一躍身上相談の王座を占めた「千夜一夜物語」これは本誌の獨壇上で他誌の到底考へ及ばない境地である、本號は今井林、鳥田小島、廣津の面々がひぢりと揃つての第六夜から第十夜まで怪奇な雰圍氣にまで、讀者の興奮を高めるあたり、藝術の香が高い

海の外から

口凄い車輪取替へ競爭

頃減法界硬化振りを發揮し獨乙ではスポーツにも此の氣分が濃厚に現出した、即ち目下開催中の獨乙陸軍展覽會大呼物の一つである自動自轉車競爭は全速力で疾走中サイドカーの兩車輪を完全に取り替へ、離れ業を演じ乍らゴールに入るといふ但し速力は時速已哩以上に限られ、一度失敗するや轉落負傷の事故を勃發する物凄い競爭である

口來意を告げる自動告知函

紐育生活改善同盟では主婦多忙中訪客が來意を告示する自動函を會員玄關に設置することに決定した、右は電氣裝置の長方形函で一枚のカードに用件を記すと自動的に新規カードが出る便利なものであり

口ピクニツクに此の珍奇振り

米國の自家用自動車所有者は此の頃ピクニツクする時後部に一台の鐵製四輪車を連結、悠々閑々遊乘りする樣になつた、右四輪車中には台所、冷藏庫、貯水等の裝置を仕組み人煙稀な場所へ行つても何等不自由なく氣分を享樂出來るといふ珍奇振りを發揮してゐる

口軍事と娛樂兼用トラツク

米國陸軍で曩頃來建造中であつた小型トラツクが此の程漸く完成、目下實地練習中であるが重さ一〇五〇ポンド、ガソリン一ガロンの燃料で時速四十哩の快速力を出し後部には無線電信器を仕組みてラヂオ兼用と來てゐるから軍事娛樂兩方面に使用される爲め此の所兵隊さんの人氣を博してゐる

鮮魚相場

品名	價	品名	價
活鯛	九六	氷鯛	五六
チヌ鯛	三二	アマ鯛	二六
小鯛	四五	マグロ	八〇
アジ	四五	ヒラス	三二
サハラ	四〇	サバ	一四
星カレ	三二	ヒラメ	二五
コチ	一三	コノシロ	二〇
キス	二五	イワシ	一三
マナカツ	六一	タチ	一七
ハゲ	三二	メバル	八
サヨリ	四〇	タコ	三五
イヒタコ	二五	甲イカ	五〇
イセエビ	一〇五	車エビ	五二
カニ	一三	アナゴ	三一
赤貝	五	ナマコ	一〇
アワビ	七五	貝柱	二五
ハマグリ	四	カマボコ	三六
チクワ	七	サゴシ	二六
タラ	一〇	メダカレ	一三
[illegible]	一六	[illegible]	四〇

青物相場　十一月廿八日

品名	單位	單價
葱	百匁	[illegible]
ワサビ	同	[illegible]
ウド	同	[illegible]
蕪	同	[illegible]
牛蒡	同	[illegible]
人參	同	[illegible]
白菜	同	[illegible]
蓮根	同	[illegible]
クワイ	同	[illegible]
水菜	同	[illegible]
玉菜	同	[illegible]
シヤクシ菜	同	[illegible]
ホーレンソウ	同	[illegible]
[illegible]	同	[illegible]
フダンソウ	同	[illegible]
玉葱	同	[illegible]
馬鈴薯	同	[illegible]
里芋	同	[illegible]
山芋	同	[illegible]
サツマ芋	同	[illegible]
大根	同	[illegible]
赤大根	同	[illegible]
フキ	一把	[illegible]
シヨウガ	一把	[illegible]
ミヨウガ	一把	[illegible]
松茸內地	百匁	[illegible]
朝鮮同	同	[illegible]
カボチヤ	同	[illegible]
冬瓜	同	[illegible]
キウリ	同	[illegible]
セロリ	一把	[illegible]
ミツバ	同	[illegible]
パセリ	同	[illegible]
ナスビ	同	[illegible]
サンシヨ	一瓶	[illegible]
リンゴ上	百匁	[illegible]
同中	同	[illegible]
ナシ上	同	[illegible]
同中	同	[illegible]
バナナ上	同	[illegible]
葡萄	同	[illegible]
ユズ	同	[illegible]
レモン	同	[illegible]
[illegible]	同	[illegible]
[illegible]	同	[illegible]
トマト	同	[illegible]
栗	同	[illegible]
蜜柑	同	[illegible]
ダイダイ	同	[illegible]
ザボン	同	[illegible]

衞生

美と若さを奪ふ　腸自家中毒の話

便秘をするとなぜ皺がより皮膚が汚く早老するか？

粒よりの素晴らしい美女軍を擁して、世界一の美しいレヴュウ團といはれる「フオーリー座」の支配人、フローレンス・ジイクフイールド氏は

「新時代の美は、適度の運動と、健全な胃腸を持つた、健康な女性によつてのみ表現される。」

といふ樣な事を述べてゐますが蓋し至言でありませう。眞の女性美は健康色にあつて、潑剌たる生地の色艷があつて、こそお化粧も生きますが、多くは

外面的なお化粧

にのみ腐心して肝心な生地の健康色を保持する事を知つて居る女性は少い樣です。

ジイクフイルド氏が云つた樣に眞の健康色は、適度の運動と、健全なる胃腸からのみ、生れるのですが、殊に大切なのは、腸の機能を整へて、便通を規則正しくする事です。

下痢が身體を衰弱させ、容色を害する事は、誰でも知つてゐますが、便秘がいかに健康の、從つて容色の大敵であるかといふ事には氣付かぬ人が澤山あります。

近代細菌學の第一人者、メチニコフ博士は、既に廿餘年前に便秘が早老の最大原因であると、喝破して居りますが、それによると、吾々の大腸内には、食物と一緒に入つた細菌が、無數にゐるが、殊に便秘のために、糞便の多く溜つた腸は、理想的の

細菌の養育場で

驚くべき超速度で、增加する無數の細菌が間斷なく、腸内の糞便をこね廻して、腐敗醱酵させ、盛んに毒素を製造するといふのです。

そしてこの毒素が、腸壁からドシドシ血液中に流れ込み、全身の組織細胞を犯すので、便秘癖の子供がそのため、腦細胞を冒されて突然痙攣を起し、假死狀態に陷る事が屢あります。大人では中毒作用が子供程激しくはありませんが、便秘すると、逆上や、頭痛がしたり、不眠に陷つたりするのは、誰もが經驗する所です。

この中毒作用が皮膚に現れるとニキビや蕁麻疹などの醜い吹出物が出るとか、

皮膚の艶が褪せ

小皺が寄つて、年にも似ぬ、老人臭い容貌になるのです。

そこで若い美しさを保つ爲には常に、便通を正常にして、有害菌を腸內に停滯させぬ樣に、しなくてはなりませんが、といつて無闇に下劑などを用ひると、習慣になれば效がなくなり、腹膜炎や盲腸炎等の、恐ろしい病氣を起す事さへあります。

處が最近、さうした缺點を補つて效果のある、ヘーフエといふ藥用菌が發見され、而も「ヘーフエは皮膚を美化する」といふ説が、獨、墺、伊等の權威ある學者によつて期せずして、一致唱道され、それから歐洲各國の皮膚醫學界、若い女性達の間に、センセーションを捲き起して居ります。

これはヘーフエ菌の體中に、腸內で乳酸といふ殺菌力の強い物質を生成し、有害菌を殺滅し、毒素を吸着する作用のある、ラーブとの組…に活力を與へ、消化吸收、蠕動等の運動を整調する多種の消化酵素を含んでゐるからなのです

このヘーフエを內服する丈で、腸內異常を恢復し、頑固な便秘も爽快な健康便に還し、毒素を解消して、生々した健康色を保つ事が出來るわけです。

スポーツと食物

これからスポーツ・シーズンに入りますが、由來スポーツは非常にヴイタミンBを費すもので、日本食の樣にヴイタミンBの少い食物を攝つてゐては、どうしても之が不足し、其結果抵抗力を失ひ、色々の病氣を誘發し易いのです。

日本の運動選手から、肺病や肋膜の患者が多く出るのも、ヴイタミンBの缺乏が齎す抵抗力減退が、大きな原因だと云はれてゐます

スポーツに限らず、凡て身體を過勞する時には、最も多くヴイタミンBを含む「錠劑わかもと」を用ひますと、その不足が補はれ、其上多くの活性酵素や榮養素によつて疲勞を恢復し、抵抗力を增進する事が出來ます。

この健康美の素ともいふべきヘーフエを、その儘製劑したのが有名な澤村博士の「錠劑わかもと」で流石に知識慾に燃えた女學生間には健康美劑としての流行を來して居ります。

過まてる　脚氣の療法

ヴイタミンBは水に溶け易く　アルカリに遭ふと破壞される

女學校出のお孃さんが、脚氣の食餌療法にヴイタミンBを含む小豆が良いといふので、盛んに食べたが、少しも効目がないとのことなので、よく訊ねて見ると、そのお孃さんは學校で習つた生半可な科學知識を利用し、早く煮るために重曹を入れて煮たといふ。生憎、お孃さんは肝心のヴイタミンBが、重曹（アルカリ）に遭ふとその效果が

破壞

されてしまふことまでは御存知なかつたのです。

ちよつと、ナンセンスな話ですが、かうした間違ひは行はれ勝ちなことで一概に笑へません

例へば、玄米や胚芽米なども、脚氣の食餌療法として、奬められておりますが、これなども十分にその攝取法に注意しなければ、却て病勢を昂める樣な、結果に陷ることが少くないのです。

一體、脚氣といへば素人の間では、文字通りの脚の病だと、考へられてゐる樣ですが、この病氣は單なる神經麻痺や浮腫ばかりをいふのではなく、同時に、胃腸、心臟、副腎等の障礙の症狀群の總稱です。

ですから、脚氣の治療にヴイタミンBが第一としても、なほ右の樣な各症狀の治療方法をも講じなければ、速かな

治療

は望めない譯ですが、玄米乃至胚芽米はヴイタミンBを豐富に含んでゐるもの、消化の惡い纖維素が多い爲に普通の人でも、胃腸を害ひ易く、殊に、脚氣は胃腸障害をも伴ふものですから、この點よく、注意しないと、折角のヴイタミンBが滿足に吸收されないばかりか、却つて病勢を增惡する樣な事になります。

また、從來脚氣の特效藥として推賞されてゐるヴイタミンB製劑も、ヴイタミンBの補給は第一としても、多くの綜合症狀群に作用する點では、聊か物足りぬ憾みがあります。よく、脚氣の人がヴイタミンB劑だけを服むよりも、他の胃腸によい藥等、併用する方が遙かに効目が早いと、謂はれてゐるのも右を裏書するものでせう。

其處で、最近では不味い食餌療法でい

胃腸

を害ふ心配もなく、また煩はしい藥の併用の手間もかけず、手輕に、しかも理想的に多くの、綜合症狀群に萬遍なく、作用する藥として、ヘーフエ菌劑が賞用される樣になりましたが、これは、ヘーフエがその體內に生物中随一といはれる豐富なヴイタミンBを含んでゐる上に、衰へた胃腸の機能を恢復する消化酵素、及び心臟や副腎に作用して、それ等の障礙を正常に導き、便通や利尿を促す强力な活性酵素を始め、腦神經に作用して、麻痺を鎭める成分をも、多方面に亘つて含んでゐるからで、このヘーフエを活性のまゝ錠劑化したのが、有名な澤村博士の「錠劑わかもと」です。

右の「錠劑わかもと」は携帶用小瓶五十錢、廿五日分一圓六十錢、八十三日分五圓で、東京市芝公園大門際、榮養と育兒の會（振替東京一七〇〇番）から頒布され全國の藥店にもあります。

運動不足から　便秘が續いて

（前略）學校に居りました時分には、大變丈夫で血色もよく、病氣らしい病氣もしたことはございませんでしたが、學校をやめてお裁縫へ行く樣になりましてからは、運動不足の爲か、兎角食慾がなく

◆…便秘がつゞきまして段々するうちに血色が惡くなつて參りました。

（中略）裁縫教習所で、お友達に身體の具合をお話しますと、それでは「錠劑わかもと」を服んでごらんなさいと、年上のK子さんがお勸めになりますし、外に二人の方も、あの藥は家でも四六時中のんでゐるが

◆…胃腸や、便秘、貧血には大變よいとお勸めになりますのでその日、早速近所の藥店で買つて以後今日までのみつゞけてをりますが、のんで効きめに驚きました。

第一、食慾が段々に出て來て便秘が快い正便になつて、以後一日一回づゝ便通がある樣になり血色が日々ついて二瓶目に手をつけた頃には、貧血もすつかり影を消しました、そして、小說は每晩のやうに讀みつゞけてをりますが、夜ふかししても讀んでも、少しも頭痛がなくなりました（後略）

東京　吉川ゆき子

變幻黒船往來

禁轉載上映及上演

（作）寺島柾史　（畫）布施長春

第百八十六回

火焰を脫る（一）

破船アレキサンテル號を、惡旗本典膳の助力によつて、わづかにのがれ得たお愛、千代、左京の三人は、潮寒い海峽を、二日二晩荒波に弄されて、それでも三日目には、念願が叶つて無事に松前濱へたどりつくことができた。

三人のよろこび……。

しかし、また三人三樣に、滿たされぬものが胸に巣喰ふてはなれなかつた。

つまり、お愛は、たんに土が踏みたいために、黒船をいのちがけで脫れたのでなく、戀しい、憎い松井白軒に逢ひたいためだ。その念願が叶へられるまでは、どうして眞から悦びを味はふことができよう。

同樣に、夏川左京もまた黒船をのがれただけで、じぶんの任務がはたされたのではない。ここに同僚の磯貝武七郎を失つてをる。そのことのために、のめ〳〵と歸藩ができない氣がした。

したがつて、松前濱へ上陸したお愛と左京は連れ立つて函館表まで足をのばさうといふ。千代にもまたみたされぬものがあつたのは當然だ。思ふ男の左京と、久々に顏を合したばかりで、相手はまたいつあへるかしれぬ旅へ出てしまふのだ。それでは男心があんまりひど過ぎる……とおもつた。

が、それを搔口說くほど、千代は女として練れてなかつた。結局濱下はづれでふたりと別れ、悄然と我家へ足を向けねばならない。

三人は、宵月の薄れるころ、城下はづれまで、無言のまゝあるいて來た。

『[illegible]では、千代どの、これで別れるとしよう』

と立伴つた左京は、さすがに眼を伏せたまゝいふた。

『……』

この場合、千代は、どうしても返す言葉が出なかつた。

『そなたも、先日來、隨分と心勞なされた。歸つたら二三日充分に休息したがよろしい』

さういふ左京の親切が、よけい千代にはこたへた。

『でも、あのう……』

『何んでござる』

『あなたさまも、二三日お休息なされてからお立ち遊ばしては……お愛さまも……』

『いや、さいぜんからいふとほり拙者、このまゝのめ〳〵と歸藩が出來ぬのぢや。どうでも磯貝どのを探し當て、倶に江戸表へ參り、主君に逐一報告いたさねばならぬ身。何もいはずに下され……』

『そんなお身扮りでは……』

『おゝ、この身扮りか、なるほどこんな半裸體で、函館表へは參られまい……。だがこの沿道に、拙者いたつて心易く致してゐる農家がある。それへ立寄つて農夫の姿にでもなつて參るよ。へゝゝゝ』

事もなげにいふ左京を、千代は一層うらめしくおもつた。同時に傍にありながら、一言もいつてくれぬお愛までうらめしかつた。

『では、おふたりさま、お氣をつけていらつしやいまし……』

千代は、たうとう別離の言葉を口へ出して、あとは涙をのんだ。

『おう、そなたも體を大切に……』

『お愛さま、あなたさまともきつとまたお目にかゝれますわねえ』

千代は堪りかねて、いきなりお愛の手を握りしめた。同時に、心のうちで左京の手をも握つた。

『千代さま、きつと、きつと參りますのよ』

お愛は多くをいはず、强く千代の手を握り返した。

新京日日新聞
夕刊
十一月廿八日（火）

大大連建設の百個年大計畫
羅津築港開始で向ふ十五年間は放置す

【大連廿七日發國通】大大連建設百個年計畫に基く第五、第六兩埠頭及ロシア町より甘井子を繋ぐ線以西の海面埋立工事は、羅津築港の工事開始により中止の已むなきに至り右百個年繼續事業は向ふ十五個年間放棄される事となつた

ハルビン市 漸く市稅統一に乘出す

【ハルビン廿七日發國通】ハルビン特別市の財源である市稅統一に關しては特別市が舊特別市、市政管理局市、濱江市、松浦市其他より成立せる關係上稅種目、稅率についても現在區々であるので徵稅上及被徵稅者の立場より見て當然改定されるものと見られてゐたが、未だ急に統一するの必要もないとの理由で當分從在通りの稅目、稅率に依る事とし實行しつゝあるが同一市內に在つて異れる稅目稅率の存するは面白からずとなし可及的速かに之が統一を希望する者あり、又豫決算制度確立の點より見ても一時も早く統一さるべきであるから市當局としても早晚改定統一せざるを得ない狀態となつた

諸物價の原價調べ

新京の物價が高い原因については既報滿鐵の衣食住座談會に於て研究されたが、尚これを原價と比較して見ると次の如くである

▲鮮魚

	運賃	正稅	附加稅
大連	—		—
奉天	〇、八一	四圓元	五％
新京	一、〇六	同	同
哈市	三、四六	同	同

で大連を原價一圓とすれば奉天一〇五、八〇新京一〇六、六二、哈市一〇八、四七となり、この方法で觀ると

▲身廻品（綿メリヤス）
大連 一〇〇、〇〇
奉天 一三七、五七
新京 一三八、三九
哈市 一四三、二一

▲化粧品（石鹸）
大連 一〇〇、〇〇
奉天 一三二、三一
新京 一三三、一三
哈市 一三六、七五

▲食料品（罐詰）
大連 一〇〇、〇〇
奉天 一二七、〇六
新京 一二七、八九
哈市 一三三、一五

となり、特殊事情ある野菜（新京少し）等の外は新京の物價は決して高くないわけで、近く部會を開催して市中の公定相場を發表する輸入組合の勞を煩さずとも安心して買物しても良いわけである

オランダが家畜飼料輸入制限
滿洲豆粕も之が適用を受ける

【東京廿七日發國通】齋藤オランダ公使より外務省への公電によればオランダ政府は廿三日附官報を以て家畜飼料輸入に關し左の如き勅令を發表した、即ち一九三三年以降一九三四年四月末に至る六箇月間を家畜飼料期とし、輸入制限割當制を實施すべく一九三三年一月一日から一九三三年六月末に至る平均六箇月間の輸入數量の十割を超過する輸入を禁止する、その結果本令の適用を受ける滿洲豆粕のオランダ輸入數量は一九三二年に九百九十萬キログラム、一九三三年上半期七百三十二キログラムで今後六ケ月間の輸入可能量は約四千四十三萬キログラムとなる

大同二年度追加豫算
總額一千四百萬圓程度

滿洲國政府大同二年度追加豫算は目下主計處に於て編成中であるが、査定方針として緊急止むを得ざるものに止め、財源を元年度剩餘金に求め、豫備金支出を行はずに一千四百萬圓を限度とし、年內には編成を完了する筈である

河合公使の良子未亡人歸朝

【神戸廿七日發國通】前ポーランド公使河合博之氏の遺髮を持つた良子未亡人は廿七日正午入港の照國丸で歸朝、出迎への人々の淚をそゝつた尙合同通信の新東京通信員マリネール氏も同汽船で來朝した

東取配當 七分六厘に決定

【東京廿七日發國通】東株取引所の今期配當は七分六厘と決定した、因に東株の前期配當は一割二分で前期に比し四分四厘の減配である

熱河の棉花（一）

滿洲國の一大資源として殘されてある秘境熱河は從來調査の手が屆かなかつた丈けに熱河肅清後は各方面から一齊に秘境の扉を開くべく行動が開始された。就中棉花に對する熱河の調査資料は從來皆無であつたが、今回滿洲棉花協會技術員主席中川壽雄、實業部農務科屬官本間國夫兩氏の熱河旅行により意義ある最初の調査が齎らされた。兩氏は大同二年十月一日より十一月三日迄一ケ月余、北票、朝陽、建平、赤峰、凌源、平泉、承德、古北口方面を踏査し、專門的な立場から熱河の棉花及び一般農業に關し詳細に調査されたもので

その報告は貴重なる文獻となるものと觀られてゐる、左にその報告書を、轉載することとした

△現在栽培面積

正確な統計資料なく調査困難だが、各縣にて調査、實地の狀況に照合して最少限度は左表の如く推定される

熱河省棉作面積表

縣別	民國十八年 栽培面積	大同二年
承德	八四畝	九三〇畝
朝陽	三七、五六四	四〇、〇〇〇
平泉	三、四〇〇	五、〇〇〇
建平	—	一〇、〇〇〇
凌源	四、五五五	一五、〇〇〇
凌南	—	四〇、〇〇〇
青龍	—	一〇、〇〇〇
灤平	二四〇	三、〇〇〇
隆化	—	六〇〇
興隆	—	三、〇〇〇
阜新	五、〇〇〇	一二、六〇〇
計		一三九、九三〇

（八、一五七町歩）

△栽培される棉花の種類及繰棉歩合

一、滿洲在來棉 熱河に栽培される棉花を主として在來棉赤木系、黑種で纖維光澤共に南滿奉山鐵路沿線のものに較べて遜色はない他に赤木系白種及赤木系黑種同白種はあるが其栽培量は少ない

二、陸地棉 北は阜新縣より南は灤平縣に至る迄在來棉の栽培地域には陸地棉が混植せられてゐるが其種類は左の三種である

（一）太子兒 奉山沿線に栽培されるものと同一で後記二種に比し開絮早く纖維の短い缺點はあるが光澤あり強さも色も共に優良である 朝陽鎭七道泉子の如きは本種の單獨栽培數十町歩あり十月十日には殆ど完全開絮の成績を示してゐた、繰棉歩合は三〇、三三パーセントだと云ふ朝陽附近では棉作面積の四〇―七〇パーセントは本品種で凌源縣及凌南地方でも相當廣く本種を栽培してゐる、朝陽地方に於ては一天地繰棉三一四〇〇斤の收穫量あり在來棉

に較べて遙かに有利な爲め漸次陸地棉の普及を見つゝある、因に十月八日北營子附近圃上に於ける陸地棉の成育狀況の一例左の如し

一、坪當本數 二十本
一、本當開絮穗數 五、五
同未開絮穗數 七、〇（半分開絮見込）
一、坪當實棉收穫見込 一二八匁
一、天地當實棉收穫見込 一、四四〇斤
同繰棉收穫見込 四七五斤
同收益金一九〇元―二三七元

（二）長城棉 凌源南部地方大城子附近に栽培される纖維長き晩性陸地棉であつて自然開絮による收穫は左表の如く困難と思はれるが、農民の話では一天地より木棉一千斤を收穫し得ると云ふ、繰棉歩合は三五パーセント內外で、凌源縣五管營子趙雨田は本種々子を一斤廿錢で大城子より購入栽培してゐる

日滿悲曲 生命線を行く（禁上演 上映）
國友雄吉（荒川芳三郎畫）

（二十八）

姉と弟

久彌は、熱心に兄を說いてみたけれど、その熱心も、遂に伸一の固い決心を動かすことは出來なかつた。伸一は、飽までも相續を承知するとは云はなかつた。是ほどまでに思つてゐる自分の誠意が、どうして兄に通じないのだらうと、久彌は非常に殘念でならなかつた。

それと同時に、彼の惧れたのは、伸一が、相續問題の、煩さい渦中から脫れたさに、若し默つて滿洲へ行つてしまひはせぬだらうか、といふことであつた。

六年以前、飄然として家出をしてしまつた時の、兄の心情を考へてみると、さういふことが、再び無いとは云へなかつた。

しかし久彌は、一時落膽はしたものゝ、決して絕望をしたのではない。自分の力に及ばなかつたら、姉たちや、親戚の力を借りてゞも、是非とも兄を說き伏せねばならないと決心した。

さうなると、一番最初に、相談を持つて行かなければならないのは、飛彥であつた。

しかもその飛彥は、姉佐紀子の良人として最も深い親戚關係にありながら、母と姉と共に、伸一を排斥してゐる人である。しかし他の一面から考へると、反對の地位にあるその飛彥を說いて、母や姉を動かすことは、一番有效であると思はれた。飛彥さへ說き落すことができるなら、母や姉は、苦も無く陷落するものだとさへ考へられた。

そこで久彌は、その日午後から、牛込津久土町の嘉村の家を訪問したが、丁度飛彥は不在で、家には佐紀子が居るだけであつた。

「兄さんは――」

「まだ歸らないの――多分、銀行から、何處かへ直ぐ廻つたのでせうよ」

「遲くなるでせうか」

「そんなことは無いと思ふわ――なにか用なの――？」

「兄さんに少し、賴みたいことがあつて」

「さう――大抵、一時間もしたら歸ると思ふわ。それまで待つてゐらつしやい」

佐紀子はやがて、緣側の椅子へ久彌を案內した。

夕陽が、かすかに庭の樹々を染めて、打水が、涼しく光つて居た。

佐紀子も椅子を並べて、赤チャンを、その膝の上に愛してゐた。今年生れの、その赤チャンは、クリクリ肥滿つた、可愛らしい女の子であつた。

二人は、暫らくの間、赤チャンの相手になつて、他愛もなく、興じた。

それから、やゝあつて、佐紀子は、思ひ出したやうに、

「うちの人に賴みといつて。一體どんなことなの――？」と訊ねた。

「なあに、何でも無いんだよ」と、久彌は、さり氣なく答へたが

佐紀子は、妙に氣に懸つたので、その顏を、ヂッと見て。

「もしや、伸一兄さんのことでは無くつて――？」

さういつて訊かれると、久彌もさすがに隱すわけには行かなかつた。

「さうだ。兄さんのことなんだ」

「どんなこと――？え。言つてごらん。あたしにだつて、話しのできないことはないでせう」

「そりや話してもいゝさ」

「ぢやあ、言つてごらん」

「伸一兄さんは、どうしても、家の相續をすることは厭だといふんだ。だから、飛彥兄さんに賴んで、說いて貰はふと思つて――」

「說くつて――誰をさあ」

「無論、伸一兄さんを、だよ」

「なんといつて說くの？」

「わかつてるぢやないか。伸一兄さんが相續をするやうに、骨を折つて貰ひたいんですよ」

佐紀子は呆れて目を見張つて、赤チャンを揺すり上げながら。

「まあ――そんな相談なら駄目よ。うちの人に、話しをするまでも無いわ」といつて一蹴した。

海軍復活豫算を繞り 依然海、藏相對立の儘

六千万圓以上なら どうにか歩み寄れる 海相の政治的折衝に期待

（東京二十八日發國通）海軍省の豫算復活要求に就ては二十七日も午後、藤田次官が自ら大藏省に赴き黒田次官と會見海軍側の主張を詳細に説明して諒解を求めた、海軍側では事務的交渉に於ても飽迄一億二千八百萬圓の復活を要求するも大藏省側の査定額が全然不明なる爲め、第二段の對策を樹てられず大角海相の政治的折衝に多大の期待をかけてゐるが、六千萬圓以上であれば歩み寄り可能と觀る向が多いが、それ以下であれば妥協は頗る困難の模樣である

海軍の要求を其儘認めれば 將來の財政は立たぬ 藏相の飽く迄頑張る根據

（東京廿八日發國通）高橋藏相の復活要求に對する根本方針は今日迄依然微動だもせず意外の强硬的態度に各省を面喰はせてゐるが藏相が斯くも頑强に初志を固持する所以は

一、將來の財政計畫と我が國力の調和を考慮すること

一、國防費の膨張は各國間に建艦競爭を醸成し延いて戰爭の危機を誘發する虞れあること

等に基くものであつて特に財政論としては海軍の決定せる國防充實計畫は頗る尨大にして軍事費は實に十億圓を『突破』せる豫想以上の巨額なるものであつて、大藏省は此の計畫を國防作戰の見地から殆んど全的に承認したとは云へ財政の現政並に將來の財政計畫確立上から豫算全額をこの儘承認することは能はず、且從來の計畫から見てこれを承認するの必要なしとして所謂單價の切り下げを斷行して財政と國防の調和を企てたのであるが、若し海軍の要求せる如く明年度だけで單價引下げにより一億の復活を認めるとなれば國防計畫全体としては六億圓を下らざる膨張となるべし、更に艦船建造、航空隊增設の完成後には毎年經常的に巨額の維持費を必要とする事となるのであるから此等の點を考慮すると若し海軍の要求を其の儘認める限り將來の財政計畫は巨額の增税を以てするも殆んど其の確立の見込が立たなくなるのである、財政の全責任を有する大藏大臣は勿論財政に『通曉』せるものは何人としてもこの財政の危機を干犯することを得ないといふのが高橋藏相始め財政當局の現狀死守論を固持する根據である

藏相の政治折衝に入る

（東京廿七日發國通）海軍省復活要求折衝は事務的には絕望視され、昨日午後政治的折衝に移されたが、主計局では飽迄當初の方針を捨てず出來得る限り事務折衝で取纏めんと努力して居り、昨日の高橋藏相よりの指示に從ひ、本日中に軍部を除く各省復活要求承認額を計數的に整理し如何程讓歩の餘地あるか同時に之に伴ふ陸海軍の要求を如何程認めるかを最後的に決定せんとし之が計數整理の出來次第藤井局長は、本日午後高橋藏相を訪ひ全体の見透しの限度をつけ、政治的裁斷を認める豫定で、斯くて高橋藏相の政治的折衝が開始される事となつた

藏相語る

（東京二十七日發國通）高橋藏相は二十七日より政治的裁斷を下すと期待されて居たが大角海相とも會ふ模樣なく左の談話をなした

我輩の心境を聽いても未だ大藏省の査定案も充分聽いて居らず、何とも言ひ得ない、大角海相と會ふ豫定もない

事務的折衝 遂に行詰る

（東京廿八日發國通）高橋藏相より大角海相に對し廿八日會見を求めることは先づなく大角海相が本日閣議後高橋藏相と會ふか齋藤首相が乘り出す以外に解決の途なきに至つた

北鐵ソ聯側 豫算編成にも帳簿をごまかす

（ハルビン廿七日發國通）北鐵ソ聯側職員が北鐵の動産のみならず在庫品迄ソ聯領土に盜引し知らぬ顔の半兵衛を極め込んで、更に反省の態度を示さない事は既報の如くであるが、最近に至り一九三四年度北鐵の豫算編成に當つてソ聯側首腦部は故意に北鐵の收入の增減的な數字を並べ立てゝ削減せんとしてゐるが去る一九二八年七月より十二月に至る所謂下半期の北鐵の收入は三千二百十六萬二千金留同一九二九年同期の收入は二千六百四十九萬九千金留であつたものが、一九三〇年に至つては僅かに千八百九十三萬五千金留に過ぎない狀態となつてゐる

二十八日の豫算閣議は困難 首相愈よ乘出し最後折衝せん

（東京二十二日發國通）海軍省を始めとする復活要求は事務折衝により解決は全く不可能となり、藏相と關係各閣僚との政治的折衝の結果に俟つより他に餘地がなくなつたので豫定通り二十八日に豫算閣議を開くことは至難となつた從つて二十八日は臨時閣議を開いて豫算問題を審議することになるであらうが齋藤首相は場合に依つては二十八日の定例閣議散會後高橋藏相、大角海相、荒木陸相、後藤農相の關係閣僚に居殘りを求め齋藤首相自ら乘り出して最後的折衝を行ふ事になる模樣である

陸軍側復活要求減額で 陸藏兩者間は意見接近

（東京二十八日發國通）陸軍省小野寺經理局長並びに大内主計課長は明年度陸軍豫算の復活要求に就いて大藏當局と事務的折衝を重ねて居るが、小野寺局長は二十七日午前十一時より陸相官邸で荒木陸相に大藏當局との折衝經過を報告し、更に午後零時より大内主計課長は大藏省に藤井主計局長を訪ひ事務的折衝を重ねたが、陸軍省から復活要求をなして居る滿洲事變費並に戰費材整備費に就ては最初總額一億一千萬圓程度であつたが、陸相は部内各局間の要求に大削減を加へ六、七千萬圓程度に減額した模樣であつてその結果大藏當局との折衝は大体順調に進捗し兩者の意向は漸次接近しつゝあるので海軍側の復活要求の解決をみるに至つたならば陸軍側も正式の最後の復活要求を提出して急速に決定されるであらうと樂觀して居る

ショータン内閣成立

（パリ廿七日發國通）ショータン氏は終日組閣に奔走した結果廿七日早曉に至り急進社會黨を中心として新内閣の組織に成功し、大統領ルブラン氏に閣員表を提出その承認を得、玆に新ショータン内閣は正式に設立を見たショータン氏は首相の外内相を兼任し、外相、藏相、陸相航空相等は何れも前内閣の諸相が留任しサロー前首相も亦兼任して居た海相を專任として居り依然たる前内閣の延長である、主なる顔觸れは次の通りである

首相兼内相 カミーユ、ショータン
外相 ポール、ボンクール
藏相 ジョルヂュ、ボンネ
陸相 エドワール、ダラディエ
海相 アルベール、サロー
航空相 ピエール、コット
法相 ライナルヂー
殖民地相 ダラミエー
豫算相 マルシャンドー
文相 ド、モンヂー
工部相 パガーン
商工相 ローランエンエーニャック

列國對滿投資の先鞭 前途刮目さる

日佛對滿事業公司誕生近し

佛國經濟發展協會代表アンドレ、ボアルヂモン、ドリビエ氏は歐米列國の對滿投資のトツプを切るべく八月中旬來滿以來新興滿洲國の諸般の『實情』を調査其の健實さを確めるや日佛對滿投資調査會の小林順一郎、横山洋兩氏の協力の下に日滿各關係當局間を往來投資に就ての諒解に力める一方滿鐵との間に投資に關する具体的折衝を開始した、其間外間各種のデマ乃至障碍あり一時一部には其の實現可能性に就て、少からぬ不安をさへ懷かしむる有樣だつたがド氏を始め關係者一同敢然此等障碍を排して着々商議を進め、ド氏、滿鐵代表間に日佛合辦による對滿投資會社設立の商議既報の如く過般兩者間に一件書類の假調印を了り明二十九日滿鐵重役會議に附議、通過を待つて愈よ新投資會社の定款其他の發表を見る事となつた、確聞するに新投資會社は株式會社日佛對滿投資公司と稱し、日本商標に準據するもので定款は七章四十六箇條より成り資金は日本金十萬圓日佛折半出資二分の一拂込みとし、社長は日本人、副社長は佛國人とし役員は何れも日佛同數となつて居り、本社を大連、支社を新京に置き事業範圍は主として滿洲國内の土木建築請負並に物品販賣となつて居る、因に新會社は當初の資本金こそ僅かに十萬圓に過ぎないが事業の發展に伴ひ將來どしどし增資する豫定であり、その『前途』は大いに刮目されて居る、一方形は日佛合辦ではあるが、とまれ日本以外の外國の對滿投資の先鞭をつけ列國の蒙を啓くものとして注目されてゐる

現下國農林豫算の削減を許さず 衆議院農村對策委員決議

（東京廿七日發國通）衆議院各派農村對策委員會は廿七日午前十時より開かれ、政友會より塚原、江藤、篠原、秦、高橋、民政黨より武富、小山、國同より風見、栗原、中野の諸氏出席各々の決議をなし、午後一時散會、代表者が後藤農相を訪問決議文を手交した

衆議院議員農林對策委員會は、農林豫算は刻下の國情より見て削減すべからずと認む、農相は職を賭してその貫徹を期すべし

日米不戰工作の第一歩 日米懇談會開催

（東京二十八日發國通）日米不戰主義の確立を以て一九三五年の軍縮會議を中心に想像される國際危機を突破すべしとなす廣田外相は二十七日午後七時半より外相官邸で日米懇談會を開催した、出席者は外務省側廣田外相、重光次官東郷歐米局長、天羽情報部長守島アジア第一課長、米國側はグルー大使、ネビル參事官及在京新聞通信特派員四名で先づ外相より險惡なる空氣に包まれた日米關係は兩者間にわだかまる左の如き諸問題の解決にありとして

一、太平洋防備制限協定の擴大强化

一、兩國民の不安の感情除去と友好關係增進の爲親善使節の交換及びこの目的達成の爲の有效なる方策を決定すること

一、日米建艦競爭問題

等の諸問題を中心に各自の立場より自由に意見を吐露し、懇談を重ね十時半散會したが當夜の會談内容は絕對に外部に漏らさぬ約束としてゐる程で相當突込んだ質疑應答が試みられたものと想像され、廣田外相の日米不戰工作は一歩々々効果を擧げつゝあるものと觀られてゐる

米陸軍力は世界十七番目の劣勢 マ參謀長 陸軍兵力擴充は緊急事

（ワシントン二十七日發國通）米國陸軍參謀總長マツクアサー將軍は陸軍長官ダーン氏に對し一九三三年度年次報告書を提出し曰く

米陸軍は世界各國陸軍比較勢力に於て實に第十七番目の劣勢にあり、しかも現に非常なる不安狀態が全世界に瀰蔓しつゝあることは明瞭である、米陸軍力は今や危險線以下にありと云はざるを得ない、余は此の狀態を遲滯なく是正することは米國の最も緊切なる重大事であると思惟する、而して米國陸軍力の充實のため余は左の諸項を勸告せんとするものである

一、正規募集兵力を現在の十二萬より十六萬五千に增加する

一、一割五分の減俸は募集費を除外する

一、空軍費に約二億弗を充當する

一、野砲隊を近代化し且つ自動車化すること

一、空軍防備兵力の機械化

一、一般陸軍兵力の自動車化

中國第四期全体會議

中華民國第四期全体會議は、十二月廿日招集されることに決定した

中央東北の失意軍人を嚴戒

（天津廿七日發國通）福建獨立派は華北に對しても活潑なる活動を開始し、既に同派と提携を傳へられる國家主義青年黨首領曾琦は密かに北上せりとの報あり、又獨立政府の密使徐維烈は三百萬元を携帶湯玉麟、劉桂堂等を買收し支那軍不侵入區域内に侵入せしめ日支紛爭を企圖し、北支を混亂狀態に陷れんとしつゝありとも傳へられてゐるので中央は華北の狀勢に對して異常に神經を尖らして居り、今次于學忠に對して福建獨立派は東北失意軍人並に東北海軍を買收せんと計畫しつゝあり、貴下は失意軍人に充分警戒を拂ふと同時に大沽方面駐防艦隊に諒解を求め、青島方面をも警戒すべしとの密電を發した、一方藍衣社總指揮部をして平津支部委員郡漢元に第三黨に對する工作の厳操を命じ又東北軍の未拂軍費の支拂に對しても速急解決を圖るべき旨何應欽に急電する等極力北支に於ける反蔣運動の爆發防止に努めつゝある

蔣、宣傳ビラで 十九路軍將士に歸順を說く

（上海廿七日發國通）蔣介石は連日南昌より飛行機を福建省一帶に飛翔させ、空中より十九路軍に對し此處數日中に福州爆擊を開始する故速かに歸順せよとの宣傳ビラを撒布せしめた

中央部の勸告電を 福建派斷然拒否

（廣東廿八日發國通）胡漢民蕭佛成氏等中央委員は廿四日附を以て福建首腦部に宛てゝ『速やかに前非を悔悟して護黨護國に歸れ』との意味の勸告電を發したのに對し福建首腦部は廿七日連名で「國民黨の腐敗今日より甚しきはなし匡救是の途なし、新政權を認むるに非ざれば斷じて勸告に從ひ難し」との返電を發した

軍司令官歸京

熱河駐屯の管下部隊初度巡視中であつた菱刈軍司令官は辰巳參謀、今岡副官、米澤一等書記官を帶同、廿七日午後七時卅分小磯、岡村正副參謀長田代憲兵司令官以下軍幕僚、大使館、關東廳員等の出迎を受け歸任、直に官邸に入つた

菱刈大將 英武官招待

二十七日午後七時半熱河視察から歸京した菱刈司令官は二十八日午後六時から、目下來京中の駐日英國大使館附武官ゼームス大佐及本國參謀本部附に榮轉歸國するタリムスデール中佐を官邸に招待、晩餐を共にした

德田大佐ら 一日新京出發

德山海軍燃料廠長に榮轉の德田海軍大佐および軍艦鳥海の運用長に榮轉の元駐滿海軍部參謀兼副官佐々木少佐は一日午前九時發で赴任することとなつた

駐滿海軍部 左近允尚正中佐

（大連廿七日發國通）軍艦加古副長より駐滿海軍部附となつた海軍中佐左近允尚正氏は廿七日「うすりる丸」で着連した

佐藤山梨縣內務部長 ハ市總務處長に近く任命

滿洲國入りに決定した山梨縣內務部長佐藤正俊氏はハルビン特別市公署總務處長に就任することに決定近く正式任命をみる筈である

天津日本租界埠頭初入港船で 廿九日は祝賀會擧行

（天津廿七日發國通）白河の河狀好轉に多年の懸案を解決して廿七日午後五時東興洋行の汽船八千代丸、清水丸の兩汽船は最初の週山船として日本租界埠頭に入港した、埠頭には居留民、小學生、女學生たちがこれを迎へ非常な賑ひを呈したが、已に支那側稅關出張所も日本租界埠頭に設立さるゝ事に決定して居り廿九日には居留民の祝賀會が擧行されることになつてゐる

一部住民は避難準備 山東方面に謠言

（奉天廿七日發國通）最近山東方面より歸來せる某要人の談によれば、北支特に山東方面には明春より支那は一層動亂化するとの迷信的流言頻りに行はれ、一部住民は既に避難準備さへなすものがあるが右は一部反滿抗日分子のためにせんとする策源によるものとして成行重視されてゐる

經濟欄

海外經濟

▲銀塊及爲替 倫敦銀塊、同遠限、紐育銀塊、孟買銀塊、米英爲替、米日爲替、米支爲替、スチール株、アナゴンダ株 [illegible]

▲上海標金 現物、十二月限、一月限、三月限、五月限、七月限、十月限 [illegible]

▲上海日本向 第一回、第二回、第三回 [illegible]

▲上海倫敦向 ▲上海紐育向 [illegible]

▲大連金鈔票 現物、十一月二十七日限、十二月十二日限 [illegible]

▲大連上海向 ▲大連煙台向 ▲阪神日米爲替 [illegible]

各地市場

▲大阪株式 ▲同短期 ▲大連株式 ▲大阪三品 ▲大阪棉花 ▲大阪期米 ▲仁川期米 ▲横濱生絲 ▲神戶豆粕 ▲カルカツタ麻袋 ▲大連特產 [illegible]

新京市況

●糧穀 ●大豆 ●豆粕 ●豆油 ●高粱 糧豆現物、特產現物、大豆、高粱、包米、小豆、鈔票、現大洋對金票、國幣對金票、現大洋對鈔票 [illegible]

巡捕襲撃犯人 尚逮捕されず
騎馬匪賊の計畫的犯行か
當局徹宵で犯人捜査

朝刊所報、新京總領事館署勤務巡捕金発奎の襲撃事件に就き新京署並に領事館署では全署員を召集し非常警戒をなし犯人捜査に努めると同時に現場に急行した倉田司法主任の一隊は犯人が附近國際運輸會社苦力合宿所に潜伏したとの情報に接し同所を包圍するとともに警官隊は徹宵を期し一千百五十六名の苦力に就き身体検査、身元調査、家宅捜査を行つたが犯人を逮捕するにいたらなかつた、その後擧動不審者二名を引致し長銃彈丸十八發を押收した、同署の捜査の結果犯人は奥地から侵入した匪馬賊團の一味で拳銃ほしさに計畫的に金巡捕を襲撃したものとにらんでゐる、拳銃は金巡捕が打倒れるやすばやく鋭利な兇器で拳銃釣革を巧みに挾み切つてゐる

金巡捕は 經過やゝ良好

襲撃された金巡捕は目下滿鐵病院で手當中であるが經過は良好である

江本隊長以下 悲しく凱旋す
昨日の告別式もしめやか

膽楡縣警務指導官緒方貢氏以下十二名は匪首金龍の率ゆる百廿名に拉致されたるにより鄭家屯守備隊長江本大尉の指揮する三十名の討伐隊は四洮線大平川驛に至り同地の守備兵十名の應援を得て三臺の自動車に分乘追跡中開通驛を距る七十滿里の地點に差しかゝるや突如金龍、五洋の合流賊團二百名に遭遇激戰し勇猛な江本守備隊長以下十名戰死兵十一名の重傷者を出したが討伐隊は敵を全滅せしめ二十六日午後四時鄭家屯に悲しき凱旋したが二十七日午前九時より守備隊に於て隊長以下十名の告別式を執行四平街時局後援會では添田澤之氏赴鄭參列の上弔慰金一封を手向けた（四平街支局發）

滿人旅館下宿が 暴つて說諭

最近滿人旅館並に下宿業が暴利を食つてゐるとの投書が新京署に舞ひ込むため同署保安係では内査を進めてゐた處遼東棧、新京公寓の兩下宿館が規定以外の料金を取つてゐるを發見し嚴重說諭をなすとともに二十八日午前八時から滿人旅館業者を同署に召集し井上保安主任から一同に對し訓辭をあたへた、なほ營業者中に組合に加入してゐないものが多數あるため加入方を勸告した

驛構内に 糧秣を貯藏

關東軍では今回新京驛構内に糧秣を貯藏することになつたので火氣を警戒驛前日之出町

手相を見ると欺き
指輪を奪ひ逃走

これはまた面白い新手の詐欺…二十七日午後二時三十分ごろ市内入舟町三丁目十一番地の二李鎭成氏方へ三十歳前後の朝鮮人男が訪れ、うらない師と稱し主人の不在中を奇貨とし妻女にうらないをするとて先づ手から見るとて妻女が差出す手を取るや藥指にさしてあつた金指輪一個丸型時價十七圓をすばやく拔き取るが早いか脱兎の如くに逃走した、目下新京署で犯人捜査中である

交通部で 全滿主要幹線に 自動車網を設定

交通部は自動車營業の取締及其監督を嚴にし一路線一營業の許可主義を民間に强制する一方之に平行して國家的見地から全滿主要幹線道路には國營自動車網を張ることとなり既に北票—承德、赤峰—朝陽の二線は運行を開始して居るが更に十二月には左の五線に國營自動車を運行せしめることとなつた

安東—城子疃
北山城子—通化
新京—農安
敦化—海林
訥河—黒河

尚奉天—撫順、ハルビン—同江の二線は一月中に開通の見込みであり、新京、吉林間は道路完成次第開通する運びとなつて居る、國營自動車として使用される車体はシボレーの半幌型の瀟洒なものである

滿洲國官吏に 暖いボーナスの訪れ
上にうすく下に厚い

滿洲國政府の年末ボーナスは來月中旬全滿各官廳一齊に支給される筈であるが本年度のボーナスは上に薄く、下に重くの方針により薦任最高八割乃至六割委任、雇員級十割乃至八割で、特任、簡任並に月收千圓以上の薦任官にはボーナスの訪れはないことに内定して居る

特別市教育會で 文藝コンテストを行ふ

新京特別市教育會は成立後最初の事業として小學兒童の學術を獎勵するため新京市の各小學校から成績優良者を選出し十二月十日午前十時から二時間自彊學校に於て文藝コンテストを行はしめることとなつた、此の學術オリムピツクで優秀の成績をあげた兒童に賞品を授與される筈である

中央通以西は あす斷水する
送水管の切替へで

かねて築造中であつた新給水塔も漸く竣工を見るに至つたのでこれが新タンクへの送水管切替へのため二十九日午前七時半から午後四時まで中央通以西一帶に亘つて斷水されることになつたが、斷水區域は和泉、露月、羽衣、錦、蓬萊、平安、常盤、千鳥の各町軍司令部、聯隊、守備隊、衛戍、陸軍新舊官舍などで、工事の都合上特に陸軍官舍方面が著しく影響されるはずである

馬占山の 密偵
滿洲國に潜入

〔ハルビン廿七日發國通〕北支に在つて相變らず反滿抗日工作に狂奔しつゝある馬占山は過般滿洲國の實狀調査の爲密偵を潜入せしめたと傳へられるが馬占山そのものと滿洲に於る勢力は全くなくなつてゐるし、又數名の密偵が潜入したとて我滿洲國の機密等は左樣簡單に知られるものではなく、驚く程の事はないと當地某關係當局者は一笑に附してゐる

海軍公館の セパードは何處

二十六日午後三時ごろ駐滿海軍公館の畜犬セパード生後三ケ月白黒色（胸毛に白色の横條一本ある）が行方不明

五、一五事件民間側公判 論告求刑は卅日

〔東京二十七日發國通〕五、一五事件の民間被告に對する論告求刑は三十日行はれるが檢事の論告は頗る長文のもので此の草稿では三十日の法廷では午前と午後に分けて論告を行ふこととなり、求刑は午後二時過ぎとなるであらうとみられる

街の日記
長春稻荷の歴史

けふ還座祭を行ふ長春稻荷神社は大正元年十一月二十九日關東都督福島安正大將の認可を受け官幣大社山城稻荷神社の御分身を奉請し長春の草分けとして齋き祀りし一大靈鎭でその昔長春第十二區三號地(今の記念館裏)にあり不況のため廢たいし鳥居さへ燒かれる有樣であつたものを夢まくらに立つたことなどもあり大正十五年信者一同の念願により曙町經王寺境内に移り還座社殿建築中のところこの程竣工けふ還座祭を行ふに至つたもので靈驗あらたかなるには信者一同おそれてゐる

常磐津大會 華やかに終了す

常磐津長太夫門下の吉林藝妓を主として組織されてゐる壽會は二十七日新京に乘出し長春座で晝は軍隊慰問夜は一般に公演したが新京花街の應援出演とありそれを番組の間にはさみ華々しく何れも得意ノドをきかせ大喝采を博した入場者の大部分が花柳界の人々であつたのもさすがにとうなづかせる光景であつた

松本理髪店の 支店開設

日本橋詰新京ビルの右横を入つた處新開業の曙湯の隣に日本橋通の理髪店松本床が支店を出した、風呂に入つて理髪、理髪をすまして入浴致れにしても便利だと大繁昌をしてゐる

拾ひもの

▲吉野町二丁目二十番地中西留吉氏は二十七日午後十時五分ごろ自宅前で茶色毛皮一枚を拾つた

落しもの

▲日本橋通三十八番地和泉正男氏は二十六日午後七時ごろ錦町二丁目滿電宿舍から三笠町二丁目キヤピタルダンスホールに行く途中ウオルサム腕時計十八型時價三十圓を落した

▲吉野町一丁目十二番地鵬崎氏は祝町福島病院よりの歸途印鑑を落した

盗難屆

▲富士町三丁目二番地眞宗榮太郎氏が二十七日午後二時十五分ごろ三笠町郵便局で荷物を受取中オーバのポケツトにあつたロザシ二折財布在中品朝鮮銀行券一枚一圓券四枚十錢三枚現大洋一圓五十錢を窃取された

西公園のスケート 愈よ危險なし
正式開場までは默許主義で
料金其他も決まる

新京体育聯盟並に滿鐵運動會のスケート部幹事會は昨報の通り二十七日地方事務所で開かれ收支豫算承認後、スケートの指導方法その他につき打合せのうへ各委員協力して斡旋に努めることを申合せなほ西公園リンクの正式開場は十二月一日であるが既に凍結完全で何等危險はない故、一日を待ちかねず出掛ける者に對して默許することとなつた、なほ使用時間および入場料金は左の通りである

一、午前九時から午後九時まで、日曜、祭日、休日は特に午前八時より

一、料金一期券大人一圓、學生小人五十錢、軍人（上等兵以下のこと）五十錢、一回券大人小人とも二十錢

なほ入場券は現場で取扱ふことになつてゐる

小蒿子列車顚覆の 戰死傷者氏名

〔チチハル二十七日發國通〕既報の如く小蒿子に於て列車顚覆の際匪賊の亂射を浴びて交戰遂に之を擊退したが、死傷者の氏名左の如し

△戰死
山口縣出身、航空兵軍曹　山本曉
栃木縣出身、航空兵上等兵　小島光

△重傷
長野縣出身、航空兵上等兵　入澤良右一

△輕傷者
航空兵二等兵　佐藤信次
航空兵一等兵　吉野貞二
〇〇聯隊歩兵中尉　丸山良春
蹄鐵工長　大塚豫正
歩兵軍曹　淺見
歩兵一等兵　高橋

と判明した
尚ほ山本、小島兩君の遺骸は戰友に護られ廿七日午後三時チチハルに到着した

兩看護長の 遺骨還送

故陸軍二等看護長今井壽久、故陸軍三等看護長横川勇作兩氏の遺骨は二日午前九時五十分發で内地へ向け還送される

歳の瀬 難戰圖（なんせんず）
慌しく迫る年の暮れ
非常時は來る！

▼プロローグ▲

凡そ慌しいと云つても、歳の瀬ほど慌しいものはあるまい。一年間お世話になつた公私各方面へのお歳暮贈り、一年間御通帳で買物した商店への支拂ひとお顧客への集金廻り、冬物、贈答品の賣出しと、藥罐一つを買つて三千圓の商品券を狙ふ景品附賣出し中の買物一年間の夫婦喧嘩の總決算をつけるボーナスによる妻君用の買物等々々。歳の瀬は實に慌しい。一日から吳服洋服、十日から和洋雜貨十六日から食料雜貨の大賣出しが市中聯合で開始されて三千圓の福運三本が、誰の手におち樣かと生あくびを嚙み殺し乍ら輸入組合の金庫の中で呻つてゐる。各商店では、一年間の決濟を歳の瀬でつけ樣と賣出しに大童べとなつてゐる。ボーナスも出る。だから今から記者が紹介しやうとする「歳の瀬難戰圖」も市中到るところに描かれやうと云ふものである。乞ふ。歳の瀬を難戰する人も、吾關せず焉と樂觀する人も、この一文に君の一刻の時間を割愛されんことを。

年の暮れは慌しく迫つてゐる、借金取りは鬼の聲と、美髯を撫でて納まることも出來ない。正に家庭非常時商賣非常時である。歳の瀬を如何にして切り拔けるか？各方面の難戰振りや如何に！……（N記者）

ボーナスの巻（上）

世の中の、オールドサラリーマンが、少々位の腹痛や、妻の出産の手傳ひまで犧牲にして精勤恪勤した一年間の積罪の効酬ひられて、一枚の辭令と共に渡されるボーナス。社長室や、科長室に一人呼び込まれて、胸の動氣を押へ乍ら恭々しく頂戴して、同僚には「案外少かつたよ」と答へ乍らコツソリ便所に隱れて封を切つてニツコリするボーナスも今月は早いところは十日頃、遲くても二十五日頃までには支給される。瓜の蔓には茄子はならぬと言つても、會社で糸瓜の樣にブラリとしてゐても大過なき限りはボー茄子が成るのであるから。如何に借金取りが押しかけ樣とも惡い月ではない。サテこのボーナスの行衛は？

××

借金拂ひ。忘年會の流れ二次會三次會の費用。愛妻の毛皮の首卷き。かねて狙つてゐる赤いネオンの下の女王への贈物。ダンスボールのチケツト代。正月旅行。一年間欲しい〳〵と毎日睨んで通つた寫眞器店の寫眞器代。等々々中にはガツチリと、將來の結婚費用に貯金するものもあらうがここに紹介する只野凡兒君は借金こそあるが、欲しいと思ふ品もなく、正月は旅行するより新京で呑んで廻らうと云ふのであるから、そのボーナスの利用範圍は、本人の自由意思に委されてゐる。會社でコツソリ開けて見たとき豫想より多かつた猪九枚も、歸りに惡友に誘はれて二枚飛したがまだ〳〵給料二ケ月分の猪がウナつてゐる。然もボーナスが支給されたことは、彼の愛妻にはまだ知らせてない

××

彼はこのボーナスを如何に有效に使用するかについて頭をひねつてゐる
昨夜「凡兒さん又來てね」と肩をポンと叩いた彼女の艶のある目が忘られぬ
近頃昔日にない妻の愛情をこの際何とかして復活させねばならぬ家庭非常時
やがて門前市をなすであらう借金取り

××

赤い灯も戀しい。妻も愛しい借金取りも擊退せねばならぬ凡兒君は、その凡才を絞つて切り拔け策に苦心したがやがて考へ付いた一策。彼は如何にしてこの難關を切り拔けたか？（此項續く）

藍衣社の 苦肉策
菱刈長官の 首に八萬元

〔奉天廿七日發國通〕福建獨立により蔣介石氏のフアツシヨ藍衣社政策は完全に失敗に歸し早くも自滅を豫想される情勢にあるので之が挽回策として便衣隊を滿洲國に潜入せしめ滿洲國要人暗殺による滿洲國擾亂計畫を進めつつありと盛んに宣傳し自滅に瀕する藍衣社の露命を繋ぎに汲々としてゐるが、最近左の如きナンセンスじみた宣傳をなし世人の顰蹙を買つてゐる、即ち

一、菱刈全權暗殺者には八萬元
一、執政は五萬元
一、鐵道爆破には二千元

夫々與へるといふのである

星野米藏氏
肝臟炎で重態

關東軍交通監督部員星野米藏氏はかねて肝臟炎のため新京衛戍病院に入院加療中のところ廿八日朝から重態に陷り容態を憂慮されてゐるが氏は大村交通監督部長の秘書として活躍した快男子である

藤村義朗男逝去

〔東京二十七日發國通〕食道癌で危篤を傳へられて居た藤村義朗男は二十七日午後三時三十分逝去した、享六十四歲

諸者から
投書歡迎

新京の交通を 亂すものは 第一に馬車

從來自動車關係交通事故の責任はその殆んど大部分を運轉手の過失なりとし非難を受けるのは結極運轉手のみであつた

交通取締りといへば一途に自動車が目標に置かれ時としては苛酷なと思はれるほど運轉手は其の處罰の過重に喘いで居る

ところが新京の交通を混亂せしむるものは自動車よりも寧ろ客馬車で次は一般歩行者乃至は自轉車等である運轉手は一通りの交通道德を知得し居るのに反し馬車夫等は全然之に乏しく一般歩行者殊に自轉車が甚だしい

寧ろ自動車以外の是等の原因により實は意外の事故を發生することが多い事故發生の際その責任は被害者側にある場合でも常に責任を負はされ加害者といふ不遇な位置に置かれる運轉手は氣の毒なものだ依て自動車を取締ると同時に一般市民の交通違反も亦徹底的に取締らざる限り完全なる交通事故防止は絶對に不可能なことだ

亦一部少數の規則違反常習者をたてにとり善良な運轉手に迄も過重な取締を以て臨むのは本當に酷な話だ、甚だしきに至つては交通係以外、何等自動車常識の無い警官が無理解な態度で取締に臨むことがある、之は交通事業者にとり將又人道上よりして實に由々しき問題である是等は僞らざる運轉手の悲痛の叫びだ全く無理もない話だ（一運轉手同情者）

けふの銀相場

鈔票對金票	二二圓四五
現大洋對金票	一〇九圓二〇
國幣對金票	一〇九圓二〇
現大洋對鈔票	九八圓〇〇

慶安異聞
艶魔地獄
（講談上演 映畫化）
玉水三郎
（畫）長谷川小信

（百四）

唐犬の一考（四）

久米の平內の惡宣傳と、深見重左衛門取込みの兩策を、用人井倉源太左衛門が青山主膳に献策した。

主膳大に喜んで、

「然らば旗本の子弟で、久米の平內の門下となつて居る者に對しては予が早速に妨害を試みるであらう。依つて其方は深見重左衛門を取込む方に、一骨折つて呉れ」

「心得ました」

斯うした奸策を弄するより外、今回の一件に復讐の手段は盡きてゐる爲、手段を選ばずに直に着手した。

井倉源太左衛門は、唐犬權兵衛方に寄食する、重左衛門の擧動を探つて見る。

町奉行所の手入れがあるまではと家の內にばかり引籠り、酒許り飲んでゐた深見は、手入れ後は大威張で、大手振つて遊びに出る。

今日も小石川白山下の、久米の平內方へ行つて、門弟相手に道場で荒稽古。それから大ぼらを吹いて、一同を吹き飛ばし、平內と晩酌を共にして、大醉酊のまゝ止めるを聞かず、淺草鳥越の唐犬方へ歸らうと、千鳥足でやつて來たのが、新鳥越の四辻であつた。

「エヽ先生、失禮ながら深見先生ではいらつしやいませんか」

常盤の小路から出たのは、例の井倉源太左衛門。

「何おや、如何にも乃公は深見だが、ツイぞ見かけぬ其方は……」

「ヘツ、お見忘れでございましたか。手前は先般雲州公のお邸に於て、お目通り致しましたる井倉源太左衛門にございます」

「オ、左樣であつたか、雲州邸では多くの武士に會つたので、記憶致し居らなんだ。コリヤ御無禮」

「恐れ入つたお言葉にございます、先生には今日は何れへ……」

「されば白山下の平內方で、大に腹こなしをやり、其空き腹へ酒を振舞はれたので、殊の外の酩酊、イマぶら〳〵と鳥越へ歸る所であるわい」

「ハツ、左樣でございますか、何と先生丁度好い處でお目に懸りました、お忘れなきやう二度目のお近づきに一獻差上げたく存じまするが如何でございませうか」

「ナニ、酒を飲ますとか、それは否ないな。だがもう大分醉つて居るので、此上は可かんよ」

「イヤ〳〵先生のお住居は、此町內の唐犬權兵衛方と聞き及びます、御酩酊になりましても、直ぐお住居へお歸り遊ばして直ぐ御寢みなれば可いではございませんか」

「いかさま、それもさうだ。然らば其方の言葉に從はん」

「では向ふの若葉と申す料亭、海鰻に靜かで好い家でございます。さア御案內仕りませう」

「オヽあれは小綺麗な家である。コリヤ面白いぞ」

若葉の門を潜つて、玄關へ立つと女中は吃驚した。

鐵扇を携へた大男、鬚ツ面で黑木綿の紋附・朱鞘を横たへた格好は、一目で素浪と判る。

源太左衛門は貧相な男、ピヨコピヨコお辭儀許りして、深見の背後に小さくなつてついて上る。

すると若葉の家の門の外に、頬冠りした怪しい男が、二人の上るを見て、垣の外に屈んで、窓に寄つて居る。

十一月廿九日 水曜 己亥 先負 建 觜宿 舊十月十二日

●一白の人 利潤を得べき柄なれど大望は起さぬが吉 辰と癸と寅が吉
●二黑の人 決心を堅めたる上は猶豫せず實施するが吉 戌と戊と亥が吉
●三碧の人 計畫半ばに頓逆を呈し實行困難に陷り易し 庚と癸と寅が吉
●四綠の人 有名無實に終らんとする日期待を掛け難し 未と壬と寅が吉
●五黄の人 困難を物の數とせず奮起を續くるに吉 丁と戊と亥が吉
●六白の人 運氣良好にして大抵の事は成就する喜あり 乙と丁と寅が吉
●七赤の人 仕上げを急げば粗雜になりて役に立ち難し 甲と乙と寅が吉
●八白の人 運途全盛の兆へ事進んで功あり交渉事成る 甲と丁と戊が吉
●九紫の人 神にも佛にも見放され萬事休する嘆嘆の日 戊と壬と癸が吉

大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

定價 一箇月 一圓 / 發行所 新京日日新聞社 / 發行人 / 編輯人 / 印刷人

復活要求豫算の推移

首相、藏相の會見で 最後決定の第一歩を踏出す

〔東京廿八日發國通〕高橋藏相は廿八日閣議に先立ち齋藤首相と會見し第一回閣議後に於ける『各省』の復活要求に關する折衝經過、殊に事務的に於て遂に暗礁に乘上げた形となつた海軍豫算の對立關係を詳細に說明し、更に復活要求に對する自己の信念と事務當局の意向を述べたるに對し、首相は豫算編成の最後的決定を遷延する事は財界を始め一般人心の不安を增大せしむる結果となるのみならず、議會關係もある事故出來る限り速かに第二回豫算閣議を開き最後的決定をなす必要があるから何とか圓滿な解決をつけたい旨力說し、之が解決策に就き懇談的に種々重要な協議を遂げた後閣議に臨んだが此の會見に依り復活要求の最後的決定『促進』をし其の第一歩をふみ出したものと觀られてゐる

天羽情報部長 支那公使館參事官に

〔東京廿八日發國通〕支那公使館參事官は矢野參事官のチリー公使榮轉に伴ひ空席となつたので、廣田外相は對支外交に重點を置くため支那在任の經歷を有する天羽情報部長を任命せんとする一方情報部長には對米外交强化の爲、サンフランシスコ總領事若杉要氏を起用する事になり、若杉氏は歸朝命令を受け十六日桑港發秩父丸で歸國の途にあり、來月早々着京し其頃更迭實現かと一部で傳へてゐる、若杉氏は東亞同文書院出身の腕利の變り種である

たが、尙數日中には番頭決定を見る模樣である

日支紛爭は直接折衝に委せ 聯盟決議に基く警告は無效果 英外相下院で答辯

〔ロンドン廿七日發國通〕二十七日午後勞働黨議員モーガン・ジヨンス氏は下院に於ける質問に於て日支紛爭事件を蒸し返し「政府は日本が支那に對し滿洲の現狀を既成事實として强制的に承認させやうとしてゐると思はないか若し然りとすれば政府は去る二月國際聯盟總會で採擇された決議に基き日支兩國政府に對して警告を發する意嚮を有するか」と質したが之に對しサイモン外相は日支兩國現在の關係に他國が介入することは何等實質的效果なきことを明らかにし左の如く答辯した

「日支兩國政府間には目下直接折衝が行はれてゐると確聞する聯盟總會決議は大体公正なるものと考へるが日支兩國政府に對し總會の決議につき注意を喚起することが何等かの效果を持つとは考へられない」

東株理事長後任は 取引所外の人物から

〔東京二十八日發國通〕東株後任理事長詮衡小委員會は鄕誠之助男、岡崎國臣の兩氏に詮衡を一任するに決定したので兩氏は協議の結果取引所以外より詮衡する事に意見の一致を見た

日佛對滿事業公司 定款審議は一二三日遲延

〔大連廿八日發國通〕既報の如く佛國經濟發展協會代表アンドレ、ドリビエ氏と滿鐵との間に假調印を了へた日佛對滿事業公司の定款は廿九日の滿鐵重役會議に於て審議決定と同時に發表される運びとなつてゐたが、滿鐵に於ては目下多事多端懸案多數に上り重役會議に於ける右定款の審議は一二三日遲延することゝなつた

杉村公使歸朝 滿洲國支那に就て語る

〔門司二十七日發國通〕杉村公使は「扶桑」丸で今朝門司に着左の如き歸朝談をなした

滿洲國の現狀は安定したが十年位は一心不亂に工作を繼續すべきである、溥儀執政にも會見したが英明な方で心强い、支那も四千年の傳統が破れ三民主義と共產主義がこれに代り四億の民を自滅の斷崖へ陷さんとして居る

排日運動も漸次下火で危ぶまれて居た日支關係も日支兩國が胸襟を開いて語り合へば好轉することは明らかだ、廬山會議で日英米戰爭の場合を想定して協議の結果新政府は排日を斷念した

支那有識者は此處三年乃至五年英米兩國の援助に賴まれぬことを知つて居る、日本品は高い關稅を越へて流入し英米商品は蟲の息だ、今後日本は滿洲國と共に南支の發展を見逃してはならぬ

印度民間當業者 態度なほ强硬 日印會商再び難關に逢着か

〔デリー廿七日發國通〕日本の最後案に對する印度民間側の意嚮を聽取し且對案を審議すべき印度側官民協議會は廿七日午前十時より開會前後一時間に『亘り』日本代表澤田氏の最後提案を中心として協議を遂げ十一時散會したが討議の中心となつたのは品種別割當量問題並に爲替下落問題であつたが當業者側は日本の最終提案に對し毫も妥協の色なく之以上讓步の餘地なきを力說した結果政廳側は非常に困難な立場に置かれるに至つた即ち當業者側は先づ政廳側が最後の意見を開陳する機會を與へた事に感謝すると共に品種別割當問題並に爲替對策について飽く迄印度案を堅持すべきことをボーア長官に要請したと、確聞するに品種別については日本案に絕對反對を强調し又爲替問題については今後の爲替下落對策に關し特に規定を設くべき必要を繰り返し主張し露骨な牽制策に出た模樣である、尙當業者側は廿八日午前會議を開き共同對策を協議の上ボーア長官と解決する豫定であるが民間側の結束が意外に强く共同戰線を張つて政廳に當らんとする『氣運』濃厚であるため協定達成近しと觀られた日印會商は最後の土壇場に至つて再び難關に逢着する危險性を孕むに至つた

承諾を待たず協定區域通過 第八十八師の南下に際し 我方嚴重抗議す

〔東京二十八日發國通〕陸軍省着の情報によれば福建獨立に伸び南京政府はその中央軍を浙江、福建省境方面に出動中であるが、これがため第八十八師の輸送が停戰協定地を通過せねばならぬので、二十五日支那側委員は二十六日北站を通過すべきにつき承認ありたき旨日本側委員に申出でたが支那側は日本側の回答を俟つことなく既に輸送に着手したので、右支那側の行爲は停戰協定の履行上帝國の遺憾とする所で日本側委員は嚴重抗議中である

中銀週報 自大同二年十一月十七日 至同二年十一月二十三日

	圓
紙幣發行額	一二一、九二一、〇七七・四二
準備	六三、〇三四、一三五・三三
保證	四八、四〇七、九四三・一九
鑄幣發行額	一、三三九、八三七・一四

井上署長赴任

東廳新京出張所の井上警部は既報の如く今回普蘭店署長に榮轉したが氏は二十八日午前九時新京驛發列車で多數官民に見送られ赴任した

福建新政府が各國に援助を求む 日本は飽迄不干涉主義 外務當局見解を表明

〔東京廿八日發國通〕福建獨立政府樹立の支那政局に一大波紋を投じ、南京政府も成行如何に依つては鼎の輕重を問はれんとする形勢にあるが福建の新政權も獨立聲明、國旗の制定、形式的に新政府の大要を整へつつあるも廣東の陣營がまだ洞ヶ峠を下らず加ふるに軍資金、その他の點に於ても到底蔣介石と實力的に拮抗する立場に非ざる爲め、目下裏面にあつて苦慮しつつある模樣である、尙二十七日その筋の情報に依れば福建政府は此の點を考慮の末、英米をはじめ我が國にも何分の援助を乞ひ度き旨各方面を通じて申し込み來り、反響を打診しつつあると、新政府のスローガンを觀るに蔣介石打倒を第一とし定石の抗日は、おざなりに列記してあるので豫め斷ることは豫期した、關心のあさが何はれるが右に關し外務當局は二十七日左の如き見解を表明した

帝國政府は曩の聲明の如く支那に如何なる事態が起らうとも我が權益、居留民の生命財產が危險に陷らざる限り決して一黨一派に偏することなく、不干涉主義を持するものである、福建政府が我國に援助を求め來つた事實は聞いて居らぬが假令へ有つたとしても此の方針通り成行きを靜觀するものである

福建大討伐の必要更になし 彈藥缺乏で近く肅淸される 汪政務委員會で報告

〔上海二十七日發國通〕汪精衛氏は二十七日朝政務委員會に於て福建問題及び掃匪情況を報告し陳銘樞及び李濟深兩氏の行動は黨國のため惡逆の極であるが、袁世凱の復帝の如きもので、久しからずして滅亡するから大討伐の要なし、江西赤匪の匪害については近年江西省民の赤匪の爲め殺戮されたるもの既に六百萬に達し悲慘の極みだ、最近蔣介石氏よりの消息によれば、匪軍は既に彈藥の三分の二を使ひ盡してゐるから肅淸も近いと述べた

于學忠語る

〔天津二十八日發國通〕河北省主席于學忠氏は二十七日午後三時省政府大禮堂に支那側新聞通信記者卅餘名を招待し、福建問題に就て說明をなし此際治安を紊す如き報道は一齊愼しまれたい旨、諒解を求むる所あつたが終つて記者側の質問に對して左の如く答へた

自分は福建獨立政府が全國を統一する力量を有するものとは信じない、中央としては方振武問題の解決の樣に政治手段に依つて和平裡に解決するのが最良の方策であらうと信ずる

山海關の接收に赴いた陶尙銘は唐山を視察今回は撫寧視察に向ふと聞いてゐるが右は山海關接收の具体的商議に於て日本側遠藤參謀と解釋の相違點が多々あつたので一先づ各縣視察の上、再び交涉する事になつたものである、但し山海關接收の原則に就ては既に商議は成立して居り、全く問題はない

何應欽が南下して當分自分が軍事分會委員長を代行することになつたとの說は全く噂に止り、自分は何等の命令にも接して居ない

厦門の革命政府擁護大會 土豪劣紳を銃殺

〔上海二十八日發國通〕漳州に於ける共產分子を以て結成せられた文化運動大同盟は二十四日午後九時厦門練兵場で人民革命政府擁護大會を開催集るもの農民協會其他各團体合計六萬人「今日こそ農、工士解放、反動分子に對する鬪爭開始の第一日なり」と叫び激烈なる口調で蔣介石打倒、藍衣社打倒、資本家地主膺懲、帝國主義打倒、抗日救國を叫び、中央政府の軍人、官吏の制帽、旗を現場で燒き棄て市內游行に移つた、市內は新國旗を掲げて總休業した、當日同地總指揮部では土豪劣紳を銃殺し、地方の中流民は之を以て共產化の一步として慄氣を震つてゐる

蔣を討逆總司令に 福建政府を討伐

〔南京廿七日發國通〕支那側の消息に依れば中央政府は福建問題の政治解決を斷念し速かに實力討伐の臍を固め近く蔣介石を討逆軍總司令に任命することゝなつた

福建獨立軍に 多數の外人軍事教官が居る

〔東京廿八日發國通〕廿七日確實なる筋への着報によれば福建獨立運動の空氣は既に今夏以來釀成されつつあつたものの如くで八月頃十九路軍の招聘外人は極く少數に過ぎなかつたが九月中旬頃より香港上海方面よりの便船で十三名福建省に入り込み又最近は米國亞細亞艦隊司令官が厦門に上陸した趣きで、之等外人は陳銘樞氏が先般外遊せる際契約したものであると傳へられてゐるが眞僞の程は未だ不明である、目下十九路軍には米國人廿三名、英國人十五名、佛國人三名が招聘され何れも軍事教育に從事してゐると

賣國行爲だ 福建獨立政府對外宣言發出 南京政府の外交政策は

〔上海廿八日發國通〕福建獨立政府對外宣言は二十三日附を以て英文で發出されたがその內容は南京政府の外交政策を賣國行爲なりと攻擊したる後左の如く述べてゐる

蔣介石の親日政策には反對する、親米、親聯盟策にも同意するものでない吾人は米人の中國に對する好意を中傷せんとするものではない、が親米或は親聯盟の結果は中國を國際共同管理に陷れ、その害は蔣の親日政策に讓らざるは疑ひなし

吾人は中國の神聖なる壹力は必ずや民族性の基礎の上に樹立すべき事を認め蔣介石を打倒する事は中國のみならず全世界の軍事經濟の爲なりと信ず何となれば蔣介石が日本の援助を得て中國富源を獲得するに至らば世界大戰は免れ得ざればなり國際平和の安全增進の爲吾人は列强が南京の蔣介石政府に金錢商品武器その何たるを問はず援助をなさざる樣警告すると共に今後此種の借款締結される事あるも中國人及び革命政府は總てを否認する事を聲明す

滿洲國辭令

田崎元武　任特殊警察隊警正(薦任七等)

警務署技正兼財政部技正　佐野忠吉　任財政部技正(薦任三等)財政部稅務司勤務

今井信一郎　任金川縣參事官(薦任七等)

李烈鈞遂に 調停より手を引く

〔上海廿八日發國通〕福建問題の調停に立つた李烈鈞氏は近く福建に代表を派遣する筈であつたが形勢進展今や斡旋の余地なきを觀て調停より手を引いた

滿鐵辭令(廿八日付)

新京鐵道事務所車務長　福田又司

鐵道部事務員　向野元生

工務課庶務係主任　渡邊柳一郎

旅順驛長　山本徹

熊岳城驛長　坂倉節三

鞍山驛長　上田竹槌

首山驛長　福永悅二郎

煙臺驛長　中村慶次

沙河驛長　坂本武

奉天驛貨物主任　後藤進一

本溪湖驛長　小平一

鳳凰城驛長　星野幸吉

新京鐵道事務所營業長　田中末治

鐵嶺驛長　小平誠

四平街驛長　田中幸英

新京列車區長　宮城調明

大連機關區長　中川正

鐵路總局勤務を命ず(各通)

遼陽驛長　廣谷宗一

奉天列車區長　大尾袈裟助

鐵道建設局勤務を命す

四平街驛長を命す

埠頭事務所第一埠頭主任　藤澤初治

遼陽驛長を命す

同輸入主任　高木彌一

鐵嶺驛長を命す

湯崗子驛長　井上丑五郎

鞍山驛長を命す

埠頭事務所監視主任　二宮宗太郎

旅順驛長を命す

三十里堡驛長　谷本憲一

本溪湖驛長を命す

營口驛貨物助役　大西喜寶

奉天驛貨物主任を命す

新京鐵道事務所　安樂俊雄

公主嶺驛貨物主任を命す

安東驛構內助役　松原文雄

遼陽驛貨物主任を命す

海城驛長　大石義三郎

新京列車區長を命す

營口驛長　野村富喜

新京鐵道事務所營業長を命す

營口驛貨物主任　長谷川銀次

營口驛長を命す

鐵道部庶務課　小森信

營口驛貨物主任を命す

奉天鐵道事務所　岩本圭之介

奉天列車區長を命す

鷄冠山驛長　木村鐵次郎

海城驛長を命す

大石橋機關區長　齋藤輪之助

大連機關區長を命す

大石橋機關區運轉主任　川西重作

大石橋機關區長を命す

同技術助役　田村瀧夫

同技術主任兼運轉主任を命す

新京鐵道事務所　鈴木宋次郎

四平街機關區運轉主任を命す

安東機關區監檢助役　水石敏弘

大石橋機關區庶務助役　川村勝之進

安東機關區運轉主任を命す

新京機關區長　鶴川泰雄

蘇家屯機關區庶務主任を命す

新京鐵道事務所車務長を命す

大石橋機關區技術主任　岡田一房

新京機關區長を命す

蘇家屯機關區技術主任　中鉢忍

奉天機關區技術助役　飯田喜勝

大連機關區技術主任を命す

蘇家屯機關區技術主任を命す

埠頭事務所　山口俊生

埠頭事務所一埠頭主任を命す

小崗子驛長　塙孝一

同輸入係主任を命す

開原驛貨物主任　野田勘次

小崗子驛長を命す

鐵道部營業課　淸水滋

開原驛貨物主任を命す

埠頭事務所貨物助役　前田金太郎

埠頭事務所監視係主任兼消防監督を命ず

茶話

今回の菱刈司令官の熱河巡視の際司令官一行が、廿六日承德から空路、古北口を經て、錦州に着陸したところ、隨行の米澤書記官の姿がみえないので一行は驚愕或は空中で振り落されたのでないかと迷子の迷子のヨネザワ書記官ヤーイと各方面に手配搜査中であつたが間もなく、錦州飛行場に着陸した別機の中から米澤書記官の姿が現れたので一同ビックリ氏について事情を調べて見ると承德出發の際、司令官一行が、豫定より早く飛行場に來着したので、豫定時間より早く出發した、米澤書記官は所用を濟して豫定時間に飛行場に行つたところ、既に司令官一行の姿はみえないので仕方なく、他の機によつて司令官一行の後を追つたこと判明、漸く一行は胸撫でおろし、米澤書記官置き忘れのナンセンスもこれで幕

人事往來

▲菱刈司令官 二十七日午後七時五十分歸京

▲十河滿鐵理事 二十九日午前七時來京、ヤマトホテル

▲植木鎭雄氏(東軍特務部法制顧問)二十六日午後七時來京ヤマトホテルへ

▲甘粕正彥氏 二十八日午前九時奉天へ

天氣と氣溫

二十八日の氣溫最高零下一度四、最低同十三度四、二十九日の天氣南西の風晴れ一時曇り

公告

告示第一九號

今般帝國臣民カ滿洲國領域內ニ於テ土地商租ニ關スル契約ヲ締結スルニ當リテハ先ヅ帝國領事官ノ證明ヲ得タル後滿洲國法令ノ定ムルトコロニ遵ヒ同國當該官憲ニ登記スルヲ必要トスルコトトナレリ就テハ當館管轄區域內ノ土地ニ關スル商租ニ付テハ豫メ當館ニ付照會セラルヘシ

右告示ス

昭和八年十一月二十七日

在新京總領事 吉澤淸次郎

皇后陛下御着帶

三殿に御奉告あらせらる

〔東京廿八日發國通〕國を擧げて御待ち申し上げる　皇后陛下の御出産の日も愈よ近づき之に先立つ古例ゆかしき御着帶の御儀は初冬の氣澄む廿八日御九箇月の戌の吉日をトされて取り行はせられた　御帶親　閑院宮御使浮田事務官は蒔繪の御衣箱に納め參らせた一丈二尺の生白絹の御帶を奉じて午前九時宮城に參内　廣幡皇后宮大夫はこれを　皇后陛下に奉呈して十時御帶を神殿に安置し、賢所、皇靈殿、神殿に於て御着帶奉告の祭典を行はせられた後、午前十一時兩陛下には御座所に出御遊ばされ、湯淺宮相、本庄侍從武官長、廣幡皇后宮大夫以下參列し、竹田女官長等御介添にて御着帶式を行はせられた後兩陛下は皇族方と御祝品の御贈答を遊ばされ、文武官の拜賀を御受け遊ばされた此の日は宮中喪なるも、畏き御思召から御除喪を仰出され、大内山は御慶事に魁けて御慶びの氣に滿ちてゐた

首都にふさはしいモダン新道路

西公園から軍司令部廳舍へ　公園の面影も一新

新京市民に取つては唯一の吾等の西公園も本年度内外觀と共に充實を期することゝなり地方事務所では工事を急いでゐたが今では殆んどその

＝工事＝を終りその表玄關である正門の改築に公園入口廣場の改善に、園内の壁泉花壇の新設など全く從來の面影を一新したが中でも同公園から軍司令部新廳舍に通ずる中央通延長道路は實に地方事務所當局者が大の自慢のものだけに首都新京の誇りである幅員五十四米(三十間)のうち眞中の十六米が高速車自動車道その兩側五米がグリーン植込地帶更にその兩側八米は緩速車(客馬車)道を、そのまた兩側は純歩道といふモダン道路となるのだが

＝今年＝は高速車道側溝、兩側の應急歩道に止め緩車車道、グリーン地は來年度に實施されるはずである、この延長は僅かに三百メートルに過ぎないが所要經費七萬圓といふのである、これが更に國都建設局の手によつて大同廣場へ一直線に更に中央驛につながることになるわけである

武裝せる　行政警察を樹立

滿洲國政府の方針確立

滿洲國政府では全滿警察機關の擴充、警察官の素質改善につとめ嚢に關東廳及外務省警察官三百四十名を招聘全滿警察に配備、滿洲國警察官の指導に當らしめつつあるが更に治外法權撤廢を目標に警察機關の根本改革を斷行すると共に全滿各地に分駐する日本軍隊引揚後の全滿治安維持に處すべく、司法制度改革並に内政改革と呼應し、二個年計畫をもつて新組織化せる滿洲國警察樹立に邁進するに決し、目下民部當局に於て具体案作成を急ぎつつあるがその根本方針とするところは

一、全滿警察行政上の指揮命令系統の統一を圖るべく、現在地方ごとに分立する行政警察及警察隊の區分を廢し、中央部によつて一元的に統一せられ、縣を單位とする「武裝せる行政警察」に改編、行政警察を主体に制匪並びに地方治安維持に當らしむ

一、警察組織の根本改革に伴ひ、高等司法警察を設け、警察組織の立体化を圖り、活動力の增大を企劃する

一、警察官の素質向上を圖るため、警察訓練、養成機關の增設を行ふと共に、全滿警察首腦部の任免は中央機關にて統轄し、從來の弊風を一掃する、他方一般警察官は原則として地方出身者を採用し、地方自衞の精神を徹底せしむ

一、第二次日系警察官招聘を行ひ滿洲國警察官指導に當るべき日本及朝鮮總督府警察幹部級百五十名を招聘警察機器の擴充を圖る等であるが、右計畫により現任十一萬に上る全滿警察隊は質、量ともに根本的に改革せられ格段の進歩、擴充をみるものと明待されて居る

治法撤廢を目標に

日本司法官を全滿法院に配置　古田總務司長近く上京

滿洲國司法部では治外法權撤廢を目標に全滿司法機關の改善並に司法官の素質向上、諸法規の改訂に不斷の努力を拂ひつつあるが愈よ司法制度の根本的改革に着手することに決し先づその第一階程として

一、司法部主腦部の陣容刷新

一、全滿司法機關に日系司法官を配置

を斷行することとなり、近く古田總務司長が上京して司法省と司法官招聘に關して折衝を行ふ筈であるが、招聘の上は全滿最高、高等、地方各法院並に檢察廳の推事（判事）檢察官（檢事）に任命、實際上の司法裁判の衝に當らしめ、世界に冠たる日本司法官の模範を示し全滿司法官の指導、向上に努めることとなつた、而して招聘人員は未定であるが總員五十名程度には上るべく第一回として十數名の滿洲國入を見る豫定である、尙司法部主腦の異動に伴ひ滿洲司法制度に通曉する栗山法務司長も最高法院推事に轉出を見る豫定である

航空機操縱　陸海軍依託生

遞信省で新に募集

遞信省では今回左記により航空機操縱生を募集する旨發表したが詳細は新京郵便局庶務課につき問合せられたいと

△採用人員　八名（陸軍依托生となる者四名、海軍依托生となるもの四名）

△採用試驗　体格檢査學科試驗（中學卒業程度）

△願書受付　陸軍依托生十二月十六日、海軍依托生昭和九年一月一日より卅一日までにそれぞれ遞信省航空局に到着を期し提出の事

伊藤少尉以下 (一)

二十三勇士の奮戰を偲ぶ

歩兵第〇〇〇隊　森本少尉

昭和八年の秋深み行く錦西警備隊本部に次の情報が入つた「劉振東、主振、李樹珍等の合流匪約三百羊山南方に蟠居しあり」と

羊山附近は混成旅團と第八師團との警備境界であり山陵稍々きの雲蒙山の奥には昔から秘密の山寨が有るとも傳へられてゐるを古來省境や縣境は舊式警察隊の稍極的な討伐の爲に兎角匪賊の巣窟になり勝ちであるが此地方は嘗て戰敗せし數千の義勇軍が四散した所でもある

殊に錦西附近は先に松尾監視隊の全滅古賀聯隊の苦戰第六師團討伐隊の奮戰等皇軍、滿洲事變史に忘れ得ない地で換言すれば安業樂土の癌とも稱すべき所であつた

高梁漸く實る頃錦西警備隊がもろもろや直ちに根據地羊山の討伐が實施せられたのであるが然し此時は匪賊は影もなかつた「よし、今度こそ」警備隊員がモカを以て討伐を決心せられ様とした時小隊長伊藤少尉が靜に口を開き「全力で行けば又逃げるに定つて居ます然も歩いては到底間に合ひますまい今度は伊藤の乘馬小隊丈でやらせて下さい」決意の程が眉宇に伺はれる迄に二泊三日の豫定で伊藤小隊丈が行くことに決つた「伊藤小隊は羊山附近の匪情を捜索すると共に要すれば之を討伐すべし」

十月七日澄み切つた秋晴の空に日章旗を高く揚げ大和錦の三十一騎必勝の炎を胸に秘めて勇氣凛々一路敵地に向つて出動した輕機三分隊小銃一分隊の火力編成であつた

途中精しく情報を蒐め乍ら第一日に先づ羊山西南方地區の小匪を擊破し翌くる八日の夜は嚴重な警戒の裡に羊山部落に宿營したのである

其夜密偵の報告に依つて其處から東南にある二車戸溝附近に三百餘りの匪賊が潜伏してゐることを知り得た小尉は沈勇深慮の國技特務曹長を招いた間違ひない賊の主力!!何ぞ此の好機を失はんや不倶戴天の憎い奴討たずに置かれうか「ヨシツヤロウ」之が最後の決心であつた成算がありくと口元に浮ぶ

愈よ明日は戰鬪と謂ふので昨日の緒戰に味を占めた初年兵達は勇躍してゐる鋭の冷い空氣に張り切つた馬が頻りに嘶いた羊山を後に道を山地に取つて行く敵を求めての攻擊であつた將士の士氣將に衝天の概が有つたが然し之が正規軍との戰鬪ならば何處其處の陣地と判然してるんだから謀度か死生の巻を潜つた伊藤少尉に虚を衝き不意を打ち寡を以て衆を破るの奇策が泉や雲と湧き出でたでもあろうが韓々所在常なき匪賊の郡を求めてする攻擊は流石に容易でなかつた

九時頃逃げて行く乘馬兵を一人捕へて手掛を得た其の話に依れば敵は未だ二車戸溝附近に潜んで居ると云ふ

「占めたぞ」……と其の時鼻先の高地に現はれた怪しき人影三つ四つ伊藤少尉の慣れた目に之は紛ふ方なき求むる敵の姿である正しく匪賊だ!!「それつ全員攻擊準備!」凛とした小隊長の命令……忽ちヒユーンヒユーン小氣味良く高空を切つて飛び來る彈の音「歸視兵だな」伊藤少尉の判斷には一點の曇りがない待ち構へてゐた兵は下馬するや否や一齊に得意の散兵線に就く敵の射擊は次第に熾烈を加へて來る或枝特務曹長が間髪を入れず右側高地を攻擊占領した少尉は自ら殘りを提げて左側高地に向ふ

居住消息

▲路次省一（大阪府）花園町五丁目一
▲松富陳（山口）白菊町三丁目十二ノ二
△佐々木多三郎（大分）永樂町三丁目二一
▲西川豐（長崎）花園町二丁目八號
▲桑原秀雄（北海道）敷島町三號
△木田覺（北海道）同上
▲金澤富次郎（北海道）同上
▲上野清（北海道）同上
▲青木雄吾（岩手）驛構内合宿所
▲橋本昇一（和歌山）東三條通四七
▲松本隆次（同）同上
▲井上包清（大分）東二條通一一人形座
▲西村清一（大阪）同上
▲垣本森一（廣島）同上
▲小幅三枝（東京）同上
▲坪田君代（神戸）同上
▲西清子（大阪）同上
▲大野世子（崎玉）同上
▲角井靜子（福岡）同上
▲太郎長絹枝（大分）同上
▲陶山君子（香川）同上
▲雁信子（釜山）同上
▲中野ギム子（長崎）同上
▲渡邊榮次郎（山口）同上
▲山本きくの（石川）同上
▲久保一二三（香川）同上
▲霜島菊江（新潟）同上
▲藤島繁子（大分）同上
▲長安武男（四平街）住吉町二丁目六
▲永田鼎（福岡）露月町三丁目五七
▲神崎熊（横濱）富士町三丁目一四

轉居

▲常盤町三丁目十二鐵出政直　白菊町二丁目一號ノ三へ
▲吉野町一丁目三ノ五藤本富雄　花園町二丁目三番地へ
▲四平街林伊惣治　白菊町三丁目八號へ
▲流星町官舍五號大西武夫　常盤町三丁目十二號へ
▲蓬萊町一丁目一九友田靖夫　花園町三丁目四二へ
▲露月町二丁目四一高橋弘八　島通一號一九へ
▲吉野町一丁目二一松尾計惠　花園町四丁目九一へ
▲富士町三丁目二須磨岡薫　中央通二三へ
▲露月町三丁目五五仲俣修鐵　花園町三丁目二八へ
▲富士町三丁目三柴田榮三　町御園へ
▲富士町一丁目八松村政傳　領事館内大使官々舍へ
▲千鳥町二ノ一松岡信夫　崇智胡同六一三へ

滿鐵市原氏宅に　怪盜侵入

滿鐵地方事務所建築係市原照夫氏方に怪盜が侵入し奥四疊半の間にある桐箪笥内に納めてあつたダイヤ時價百二十圓プラチナ指輪時價十二圓、金鎖時價七十二圓がいつの間にか窃取されてゐるを二十八日午前八時ごろ家人が發見し新京署に屆出たので同署で犯人捜査中である

好評の美術展

來年度は大規模で　これで本年は打切り

滿洲國美術第一次展覽會は奉天官民希望によつて去る十一日から五日間に亘つて開かれたところ連日超滿員の盛況であつたが大連その他からも同樣開催方の希望ありしも氣候その他の關係から本年は一先づこれで打切ることに決定、目下跡始末に係員が忙殺されてゐる第一次展の豫期以上の好成績に鑑み文教部でも意を強うし來年度は更に範圍をひろめまた規模を大きくして滿洲國新進文化のために出來るだけの努力を盡したいと今から意氣込んでゐる

附屬地外に溢れる日本人

今では五千名突破

新京附屬地の住宅難から進んで城内に居住する日本人は日一日多くなる一方で新京居留民會の調べによると同會の關係下にある城内外、南嶺、寛城子、新發屯を加へて

『事變』前の昭和六年九月僅かに戸數五十三、人口百六十名だつたのが昭和七年末には戸數四百四十二、人口千五百七名に增加し、更に滿二ケ年後の本年九月現在では戸數千三百五十七戸、人口四千四百七十九名といふ恐しい躍進振りを見せ今では五千名はとうに突破した見込みである、なほその增加率は日一日と素晴らしく本年七月は三百十二名、八月は二百五十九名、更に九月は五百四十名增加である、なほ右數字は警察の調べより一割五分方多ひがこれは無居者をも加へたもので居住者の

『階級』は無産者が大多數でこれがため居留民會で徴收される公費の如きは戸數の激增に較べて大したことはないが、それでも事變當時僅か月額三百圓程度だつたのが約千二百圓に增加してゐる

基督教女子青年會ホーム誕生

猛烈な住宅難の嵐の中で獨身女性にまごゝかな家を與へるといふ新京に住む女性にとつて嬉ばしい話

新京キリスト教女子青年會では故國日本を離れて新京に住む獨身女性のため正しき指導方針によるホームを作り、往々にして踏み誤り易き道にある女性にまごゝかな家を與へる計畫を立ててゐたが、此程市内吉野町五丁目愛國旅館裏に家を借入れ、來月五日より獨身婦人ホームの店開きをする事となつた

此の計畫が時宜を得たものだけに早くも各方面からの照會申込が殺到し女子青年會は此の仕事に忙殺されてゐる

婦人ホームは室數約廿で、八疊一人二食付四十五圓、二人の場合は廿五圓、三人の場合は廿圓となつてゐる

兩頭の奇形兒を産む

手足共各四本ある

北鮮義州郡居住鄭京玉の妻李氏（二二）は妊娠九個月目に古今無類の奇形兒を産んだが頭が二つ手足共四本あり分娩即時死亡したが同地某醫院長は醫學界の參考にすべく死体寄贈方を交渉中であると

社會係の中間驛慰問

新京地方事務所社會係では中間驛慰問のため二十六日孟家屯、廿七日大屯に係員出張いづれも午後六時から十大ミリを映寫して公開したところ例によつて多大の人氣を博した

谷内騎馬討伐隊

天龍匪を潰滅

〔ハルビン廿七日發國通〕谷内騎馬討伐隊は二十一日蘭西、南方五軒少倫樹の附近青山堡に天龍匪約一百、蟠居し居るを知り之れを攻擊、交戰三十分の後これを東南方に潰走せしめた、戰場に遺棄せる敵の死体十三、軍馬十七我が損害輕傷兵一名

奉天に反滿抗日分子入込む

〔奉天廿八日發國通〕最近支那方面より反滿抗日分子が多數入滿した形跡あり、奉天市内に利用されてゐるマツチのレツテルに往々反滿抗日の字句を掲げてあるもの發見されまた市内各所に「民國市民大會」「祝慶〇國記念」等の落書がしてあり、日滿當局に於ては極力之等反滿抗日分子の捜査に努めてゐる

販賣事務所長更任挨拶

新京販賣事務所淺野治作氏は今回奉天販賣事務所長に轉任久松治氏が後任に來着兩氏同伴歷訪したい二十七日各方面を挨拶に

緒方指導官等　尙判明せず

〔奉天廿八日發國通〕廿五日饒楡縣西方三十支里二龍山に於て孔洋、金龍の合流匪二百余のため拉致された緒方指導官及警士一名の行方に就ては目下内海部隊出動捜査中であるが、二十七日夕刻に至るも安否判明せず爲惡の場合を豫想され憂慮されてゐるが園に二十六日正午の報告によれば廿五日夕刻匪團より脱出何れかに逃走したとも傳へられてゐるが何等手掛りが無い

キヤピタル　貧民救濟寄附

市内三笠町二丁目キヤピタルダンスホールでは滿一周年を迎へたとめ一周年を祝するとともに金百圓を新京署貧民救濟會に二十八日寄付した

映畫だより

かねて新築中であつた新京キネマは、いよいよ落成したので、來る廿九日華々しく開館披露を行ふが、披露興行は客足がつくと云ふ緣起をかついで、ロイドの「ロイドは足が第一」と日活時代劇「峙三里」である。●向同館の名付け親は、故根岸耕一氏で、新京唯一の常設映畫館の落成を見ずして世を去つた根岸氏は今更の樣に惜しまれてゐる

けやき

▲モナミに居たフサ子又舞ひ戻つて、モナミで返り咲いてゐる、何となく老けたところが内地歸りの土産、▲ことのシズ子、東京に去つたゼーオーエーターのアナさん戀しさ東京に行つた近く新京に歸つて來るさうだが、燒杭についた火も朝鮮潜りで消えさうだ▲精養軒主人過勞から廿五日の夜心臟痲痺で卒倒、目下家庭で靜養中々の字がサゾ心

中間驛（社會係の續）

配したことでせう、▲マルセーユは頗る評判が良い照明調度、女給料理が良く美人揃ひである、サロン富士と共に新京一流に伍してゐる、▲撿徽せぬため日本人の登樓を禁じた支那料亭が最近日本人を盛んに登樓させてゐるが日本人の登樓必ずしも惡しとは言はぬが一週一度の檢査位實施しては？

石炭液化は今一段の研究が必要
栗原中央試驗所長語る

(大連二十七日發國通) 滿鐵中央試驗所長栗原鑑司氏は德山海軍燃料廠に於る石炭液化の研究立會及び撫順に於るオイルシエールを原料とする洋灰製造試驗報告を携へて上京中の處二十七日入港の「うすりる丸」で歸任したが船中語る

石炭液化の事業は今の處採算不可能で今一段の研究を要する、此の研究は德山、東京、撫順等で行はれてゐるが矢張り德山が一番進んでゐる樣だ、オイルシエールを原料とする洋灰の研究は大仕掛けにやつて良い結果を得たので內地專門家の意見を徵した結果充分採算がされるので本格的に事業に取掛かることになつてゐる之ばオイルシエールの可燃性物質を利用して作るもので生產費が非常に低廉な爲內地當業者間に大問題となつてゐる勿論專賣特許はとつてある

米價續落の傾向に
早くも賣渡し申込み増加

(東京二十七日發國通) 新米出廻り最盛期に入り、米價は低落の一途を辿り公定價格に依る賣渡し申込みは非常に増加し、此の傾向は本年繼續的と觀られ、統制法の前途に一抹の不安を投じて居る

ソ聯穀物輸出會社の買付躍動で北滿特產界俄然緊張

(ハルピン廿七日發國通) 北滿特產物の出廻りも愈よ最大殷盛期に入りつゝあるが、ソ聯の穀物輸出會社北滿出張所は、今回約四十四萬枚の麻袋を買付け北滿特產物の大々的買付に躍動せんとし、諸般の準備に寧日なき有樣であるがソ聯側の活動により北滿特產界は俄然異常な緊張味を加へて來た

紅卍會許總會長一行
殉要壇列席のため近く來連

(大連廿七日發國通) 世界紅卍會總會長許蘭州氏は十二月一、二の兩日大連で行はれる殉要壇に列席の爲一行約八十名を卒ゐて月末來連することゝなつた大連紅卍會支部では籌備委員會を組織し一行歡迎の準備を進めて居るが本日午後二時第一回委員會を開催具體的接待方法を協議することになつて居る、尚一行は大連出發後滿洲國各地を巡視の筈

ハルピン阿片小賣業者十七名増加

(ハルピン廿七日發國通) 當市內に於る阿片小賣業許可者は專賣制度實施以來卅名に限定されてゐたが、人口の増加需要範圍の擴大に依り小賣業者十七名増加を決定、豫ねて關係當局に於て人選中の所此程決定を見たので十七名に對し許可を與へた

記念碑建設に縣人會が奮起
愛知出身者の活躍

日露戰役奉天會戰の當時わが軍の活躍奮戰で實に一千名近くの勇士を犧牲にした靈地として知られる奉天停車場西方二里半の于洪屯部落に記念碑を建設すべく步兵第六聯隊勇士の出身地愛知縣廳、名古屋市役所、步兵第六聯隊聯隊區司令部、在名新聞社ら發起の下に計畫中だが在京愛知縣人會ではこれを助成し、これが建設資金の寄附を仰ぐべく一日午後二時から地方事務所會議室で岡村參謀副長、原參謀、新京地方事務所山內地方係長、加藤地方委員ら同縣人會の有力者ら集合してその方法その他について協議することになつた

糸價慘落對策は操短實施が適當
蠶糸評議員會の決議

(東京二十八日發國通) 全國蠶糸業組合聯合會は二十七日丸の內蠶糸會館に評議員會を開催、糸價慘落の對策さして差當り各地方で實質的に操短實施を適當さする旨の決議をなした

堀口善戰してトミーと引き分け

(東京二十七日發國通) バンタム級世界選手權保持者たる比島のヤング・トミー對新進の堀口との八回戰試合は非常な人氣を呼んで廿六日午後田園調布の野球グラウンドに開催堀口よく戰つて遂に引き分けさなつた、最近日本の拳鬪は角力の人氣を奪ひ去つた觀があり此の日も觀衆三萬に達した

採金調査の七里班
任務を果し歸黑

(黑河二十五日發國通) 採金調査隊七里班は七月七日黑河出發後黑河西方二十五里の五道溝をはじめ法別拉河、五世德木溝方面を試錐調査中であつたが一名の犧牲者もなく完全に任務を果し一同元氣にて歸黑した、同班は去る二十三日自動車にて當地出發嫩江、訥河を經て鐵嶺に歸還冬營の豫定である

稅關分科規定制定
全滿稅關事務統一を圖る

滿洲國財政部では曩に稅關官制を制定、全滿稅關長の正式任命を行つたが、更に稅關分科規定を制定、十二月一日より施行、同時に稅關主腦部以下全稅關員の任命を行ふ筈であるが、稅關組織は總務、稅務、監査、監視の四科さなし大連稅關には別な郵包、統計の二科を置き、稅關事務の統一を圖ることゝなつた

四平街　接客業者の健康診斷

四平街署保安係では去る二十二十一兩日間に涉り當市に於ける接客業者七百八十三名に對し一齊に健康診斷を實施したが邦人百九十二、滿人五百九十九で滿人業者には五十七名のトラホーム患者があり當署に於ては患者五十七名に受療券を手交し一日十錢治療費にてこれが治療を行ふと

馬を奪つて逃走

去る二十四日午前十一時頃昌圖縣第七區廣裕村三家子部落居住の王朝義は騎馬にて八面城へ赴し途中昌德村五里堡子(八面城南方六支里)に差掛るや突如一名の賊現れ所持する拳銃を擬し王を脅迫し逃れんさしたる王の背後より賊は發砲重傷を負せ王の馬一頭を强奪南方に向け逃走したさ

范家屯　鴉片小賣所賣上成績

范家屯附屬地には三裕興城內には大什數と云つて鴉片小賣を開始したが以來密賣者等の爲め別に收入を舉げなかつた樣であるが段々日滿官憲嚴重取締關係上小賣所は非常に福音で近頃は毎日賣上高百圓餘であると

馬賊と連絡の村長逮捕

懷德縣二區郭家村々長孫茂棠は多年懷德縣第二區に家族を置き夏秋高粱繁茂期の際は馬賊と連絡を取り居るを新京憲兵隊員が聞込み十一月十日逮捕したがモーゼル拳銃一挺及彈丸數十發所持したさいふ

海の外から

□救濟聯合事務所移轉　一九二七年七月十二日の條約に規定せられた國際救濟聯合は其の事務所をジユネーブ・ローザンヌ街一二二番に移轉來春早々から積極的活動をなし大に國際的に呼び掛けることゝなつた

□毒蛇咬傷患者シヤムで發表　シヤム國赤十字本社では同國人にして昨年度毒蛇に咬まれた被害者數を調査中であつたが此の程發表された、右に依れば咬傷患者は實に八百十二名の多きに達し二名の犧牲者を除く外全部治癒したさ

□十五分間潛水術　米國トロント州立大學生理學教授ローレンス・アーヴキンダ博士は水中に十五分間完全に潛水出來る水泳術を編み出し近く實驗するさ

□米國の自動機關銃　米國陸軍トラツク隊では多年の研究成り、一台每に自動機關銃五基を設備取り付けることになつたが右は自動車進行中の振動率に依つて機關銃が自動的に性能を發揮するさ云ふ最新科學兵器の雄であるさ

アンゴラ兎毛を
鐘紡で買入れ

鐘淵紡績株式會社のアンゴラ兎毛買入れは愈よ具体化し代議士鷲澤與四二氏社長たる東京市芝區田村町東京アンゴラ兎毛株式會社を通じて積極的に集毛する事さなり同兎毛會社では全國の飼育者から最も高價に兎毛の買入れを爲すさ同時に小田原急行鐵道沿線の南林間都市に敷地一萬坪の理想的大飼育場を設定して種兎を廉價に地方に頒布し農村副業さしての組合組織に依るアンゴラ兎の飼育を全國的に獎勵し永久に其兎毛を買入る事に決定した鐘紡の兎毛織物計畫は大規模なもので一日の消費量は二三萬封度と云はれて居る

わし澤代縣士の鄉里信州上田地方では既に組合員募集に着手し兎毛會社直屬の建實な組合を設立しつゝあり、同兎毛會社の事務所は毎日數百個の小荷物殺倒の有樣にて多忙を極めつゝあり

ラヂオ

廿九日(水曜日)新京

午前十一時〇五分　講演　滿洲に於ける軍用鳩　關東軍軍用鳩養成所長 陸軍步兵大尉 柿本貫一

午後五時〇分　子供の時間(滿語)
講話　新京特別市立第五小學校長　張汝貞
怎樣方可以作一個善良的人
講話　新京特別市立第五小學校四年二明生　金雲龍
對於日本之感想
故事講話　新京特別市立第五小學校四年二明生　放鳳翔
鄒人ヶ鴻
對於滿洲國將來的感想　劉佳芳

同　五時三〇分　ニュース(英語)
同　五時四〇分　ニュース(露語)
同　五時五〇分　ニュース(鮮語)
同　六時〇分　ニュース(東京より)
同　六時二〇分　(滿語)講師　語學講座　高宮盛逸
同　六時四〇　(日語)講師　語學講座　植松金枝
同　七時〇分　演藝(滿語)
同　七時三〇分　講談　金銷記　艷春阮　妙蘭
同　(滿語)協和會中央事務局　滿洲國民之修養問題　座周
同　八時〇分　ニュース
同　八時三〇分　時報　氣象豫報、番組豫告(滿語)
同　八時三一分　ニュース(東京より)
同　八時四五分　ニュース　氣象豫報、プロ豫告
同　九時〇分　演藝(滿語)新京戲院より中繼

(追信)廿八日放送番組一部變更左記の如く追加す
午後七時三〇分講演(滿語)を削除午後八時〇分のニュースを繰上げ午後七時三〇分に放送
午後八時〇分には次の放送を行ふ
マルコニー侯歡迎狀況大連ヤマトホテル歡迎會場より中繼
一、歡迎の辭　大連市長 小川順之助
一、挨拶　マルコニー侯

鮮魚小賣相場

品名	値	品名	値
活鯛	一〇五	氷鱈	四五
チヌ鯛	三二	小鯛	五二
マグロ	八〇	ニベ	二一
ブリ切	四五	ヒラス	三〇
サハラ	三五	サバ	一七
アタダ	二五	ルレイ	一二
ヒラメ	一七	コチ	一二
キス	二五	イワシ	二三
マナカツ	五二	ハゲ	三〇
オコゼ	二六	アコウ	四五
サヨリ	五二	グチ	一一
ホーボ	二三	タコ	三一
イヒタコ	二〇	甲イカ	三五
イセエビ	八五	車エビ	八〇
中エビ	三〇	カニ	二一
アナゴ	二六	マワビ	七二
カキ	二五	シジミ	七
カマボコ	三六	ホタテ	一五
星カレ	二五	オバ	三六
赤貝	一四		

黑船往來

禁轉載上映及上演

(作) 寺島柾史　(畫) 布施長春

第百八十七回

火焰を脫る (三)

あくる日は、もう二人は、箱館の町を尋ねて徘徊する身の上だつた。

途中、知內村の知り合のある農家から、衣服萬端借着してきたので、一見してふたりは、農夫農婦の扮裝である。ことに、無尻のつゝそでに細ごろを締めわら草履をはいたお愛は、その豐艶なる容姿を巧に隱しただけに、相手の左京には痛々しくみえた。

『のう、お愛どの、かういふ姿のふたり、ひとが見たら何んと判斷するだらうのう』

左京は、函館の町を步きながらお愛をかへりみてこんなことをいつた。

『ほゝゝ、てうど、道ゆきでござんすわ』

『戀の農夫農婦の道ゆきか……まことさうでありたいものぢや。へゝゝ』

『まあ、ごぜうだんばかり……』

こんな、他愛もないことをいつてあるいてゐては、當てない尋ね人は、目のさきにゐても尋ねあてられるものではない。

一日二日とうろつき廻つて、てうど三日目の夕景のころには、まづお愛の方で投げ出すやうにいつた。

『こんなんぢア、仕樣がございませんわねえ……』

『まことに……拙者の考へでは、奉行所を動ねて、兩所の行先を知る何かの手がゝりを得ようと存ずるが……』

『ですけど……あの方が……』

『なるほど、松井どのゝことか……奉行所に知られては、よろしくないといはれるのか、その點、拙者も同樣だ。磯貝どのゝ行方をたづねるには、松前藩の手で探すが至當、かつは容易のことだが、それを拙者一人にて探さうといふのは、つまりそなたの顏と同じことだ。いや、奉行所は、そなたにとつても松井どのにとつても、鬼門だつたのう』

ふたりは、會所町邊の、さびれた坂道をあてなしに步いてゐた。

けふはもう、これで一まづ打ち切つて、どこぞで宿を求めなければならない。それを互に心ののうちに思案しながら步いてゐた。

ふと、お愛は、そのとき坂道の右手に、れいのフランス國の三色旗が、夕空にへんぽんとゆれてゐるのをみつけた。

可成りもう古い記憶だ。お愛は、その三色旗の下の、赤瓦、南京下見張りの異人館時代を思ひ出したのだ。

『夏川さま』

『おう』

『あの異人館がフランスの領事館

『あれが……?なるほど』

『もしかして、あの館をあの方がたづねられた事があるかもしれませんわ』

お愛の直感だ。白軒が未だに海外渡航の大志をすてず、黑船便乘を目論でゐるものと信じてゐたから……。

『うむ、あるひはたづねたことがあるかもしれぬ。いや、松井どのゝみではなく、磯貝氏とて、フランス軍艦の行方を知りたさに、異人館をそれとなくたづねたかもしれぬ。行つて樣子をうかゞふとしようか』

左京は急に勇み立つた。

『でも、充分御用心あそばせ、また黑船のときのやうに、むざんに捕虜になつては……』

『大丈夫!』

ふたりは、なんの成算もなしに異人館の表門に近づいた。

と、そのとき、ふたりの後から忍び足について來た、だんぶくろ姿の男があつた。

ふたりが、表門の內へ入つたのを見濟まして、急に、踵を返し、いつさんに坂道を驅けおりて行つた。